



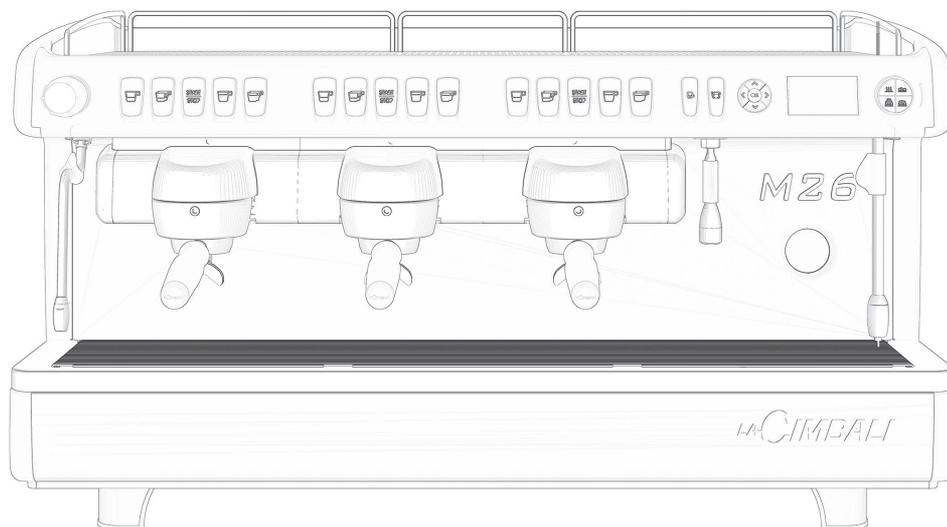
LA CIBALI

M26

JA

使用と設置

取扱説明書原文の翻訳



IDEA

コード 997-318-000 (改訂 2505)





マニュアルの更新された電子版は、ページの下部に表示されている Web サイトからアクセスできます。

<https://servicesquare.cimbaligroup.com/en/login>

CIMBALI GROUP
Partner Area

User name
Enter email

Password
Password

Sign In

[Forgot password?](#)



索引

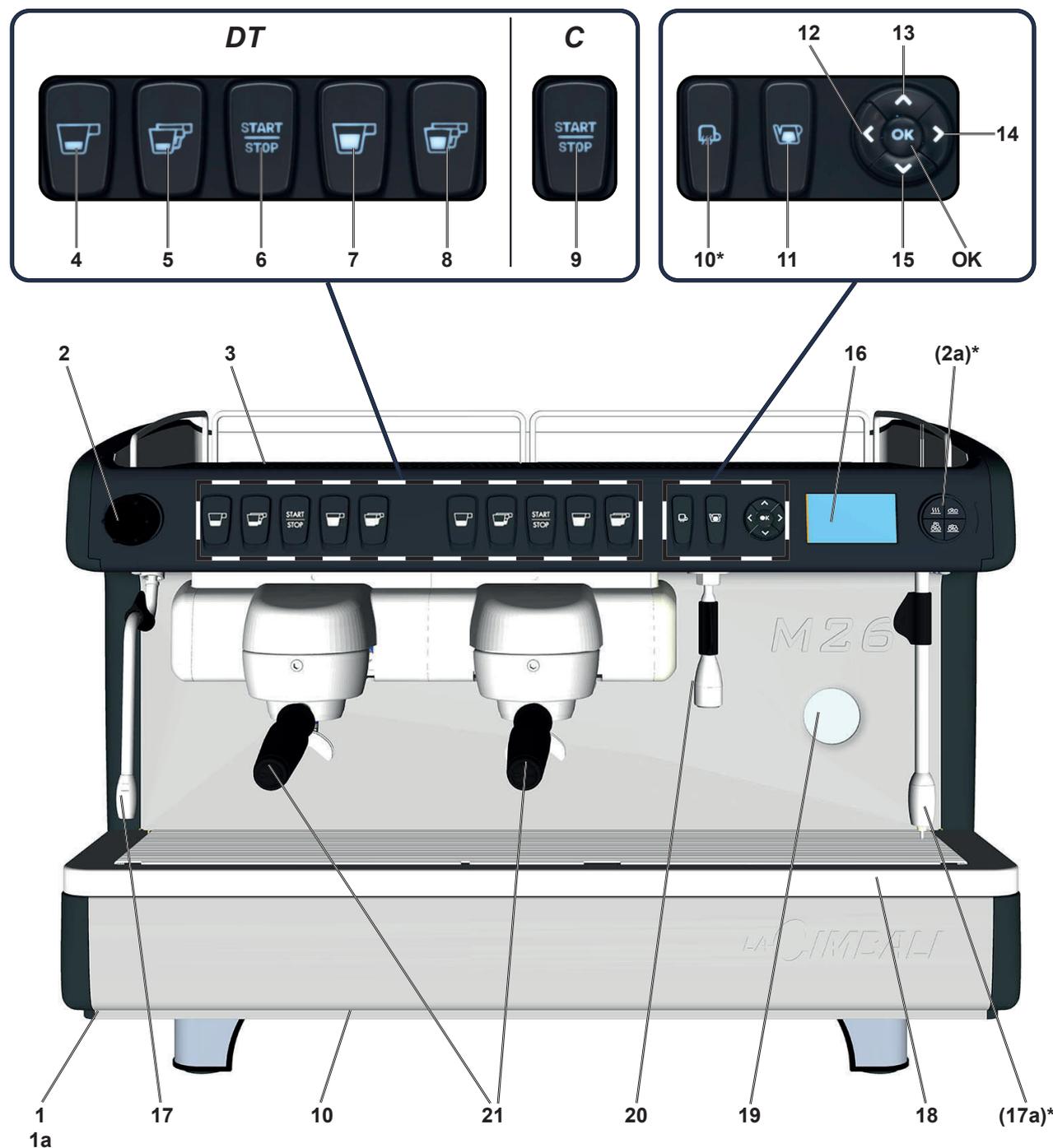
	ページ		ページ
1. 総則	4	18. クリーニングとメンテナンス	21
2.1 輸送および取り扱い	5	ディスプレイ DTバージョンのグループ	22
2.2 設置規則	6	SIMULTANEOUS WASHING (同時洗浄)	23
3. 電氣的設置規則	7	連続洗浄	24
4. 水の設置規則	7	単一洗浄	25
5. 設置チェックアップ	8	ブロック機能	26
6. マシンを操作する作業者に関する規則	9	ボイラー中の水の交換	26
7. 注意	10	ディスプレイなしのDTバージョンのグループ	27
8. メンテナンスと修理	10	Cバージョンのグループ	28
9. マシンの分解	11	フィルターホルダー	28
		手動/自動スチームノズルのクリーニング	29
		スチームおよびお湯の分配パイプ	30
		グリルとドリップトレイ	30
		排水トレイ	30
		本体構造	30
		19. 欠陥 - 不具合	31
		明示モードでのメッセージ	31
		カスタマー プログラミング (ディスプレイ DTバージョンのみ)	
		20. データフローチャート	32
		21. 時計の調整	33
		22. プログラミングモードへのアクセス方法	33
		23. キーメニュー - コーヒー選択	34
		24. キーメニュー - お湯選択	34
		25. Programming measures using the "SELF-LEARNING" function	35
		26. 洗浄	35
		27. データメニュー - カウンタディスプレイとゼロ化	36
		28. カスタマーパラメータメニュー	37
		営業時間メニュー	38
		日付と時刻	38
		イラスト	39
		サービスライン	40

使用

10. 日常作業	12
ディスプレイ DTバージョン	12
Cバージョン / 表示なしのDT版	13
ディスプレイ DTバージョンのみ	14
11. ディスプレイの記号の説明 (ディスプレイ DTバージョンのみ)	15
12. ボイラー内の水の交換 (ディスプレイ DTバージョンのみ)	16
13. カップウォーマー (適用可能な場合)	16
14. コーヒー分配	17
15. お湯の分配 「自動学習」機能を使用した分量のプログラミング	17
16. スチーム分配	18
16.1 ターボスチームセレクター による分配 (適用可能な場合)	19
17. マシンのカスタマイズ (技術スタッフにより実行できます)	20
フロー制御	20
BDS - Barista Drive System	20

M26

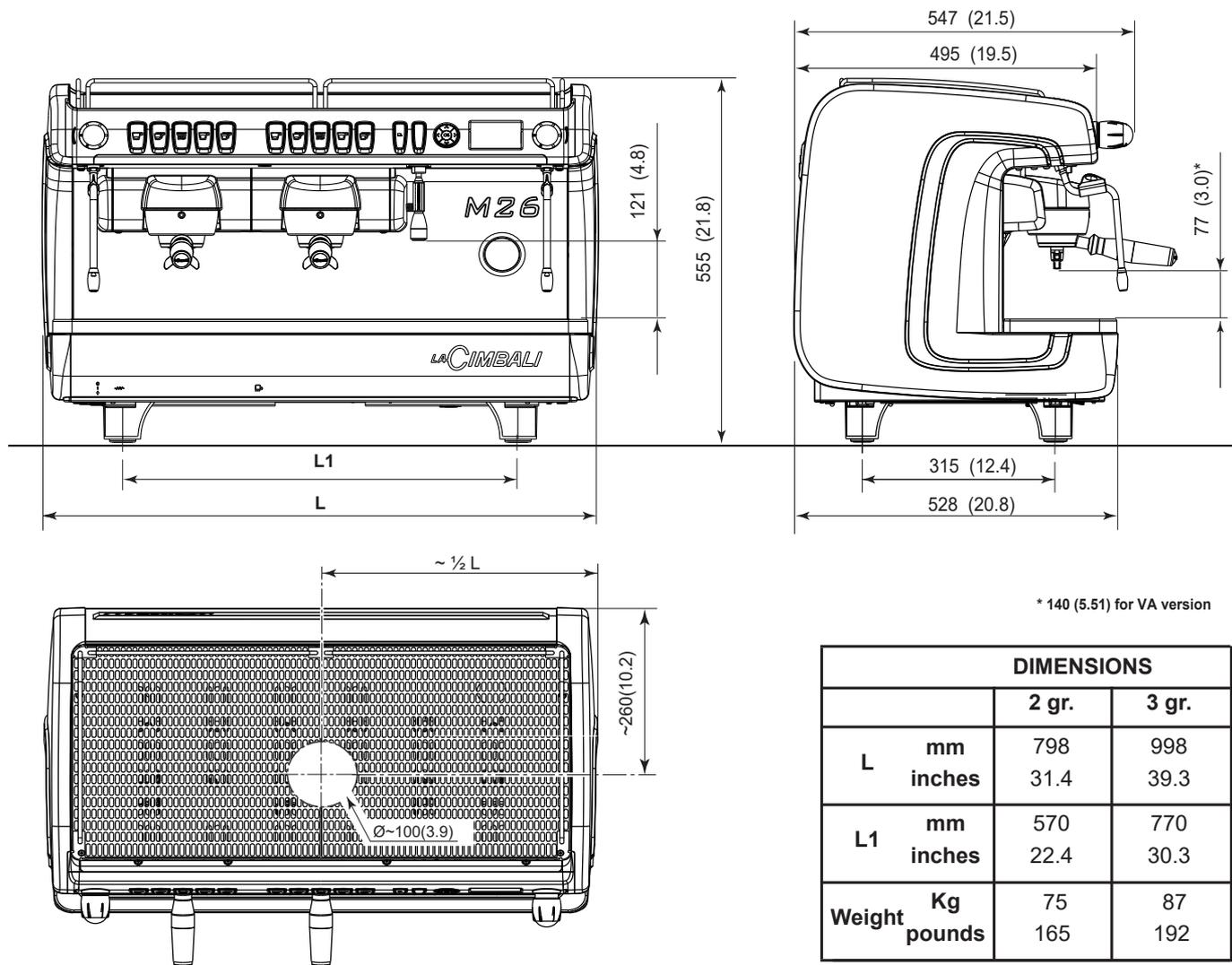
日本語



凡例

- | | | |
|---------------------------|---|-------------------------------------|
| 1 メインオン/オフスイッチ | 9 コーヒー分配スイッチ | 16 グラフィックディスプレイ (*) |
| 1a ボイラー熱抵抗スイッチ | 10 電気式カップウォーマー ボタン (*) | 17 回転式スチームジェットパイプ |
| 2 スチーム調整ノブ | 11 お湯ボタン | 17a オートスチームパイプ (*) |
| 2a オートスチームセレクター (*) | 12 「◀」キー (プログラミング モードを終了する/入力したデータをキャンセルするキー) | 18 パン |
| 3 カップウォーマー (*) | 13 「▲」キー (パラメーター/時計の修正に使用) | 19 ポンプ圧ゲージ/ボイラー圧力計 (*) |
| 4 分配用プッシュボタン-1ショートコーヒー | 14 「▶」キー (プログラミングモード/メニューへアクセスするキー) | 20 お湯の分配パイプ |
| 5 分配用プッシュボタン-2ショートコーヒー | 15 「▼」キー (パラメーター/時計の修正に使用) | 21 フィルターホルダー |
| 6 停止-継続/プログラミング - プッシュボタン | | OK ボイラー抵抗の On/Off スイッチ - 入力したデータを確認 |
| 7 分配用プッシュボタン - 1 ロングコーヒー | | コンポーネント - * - は一部の製品の構成のみに適用されます |
| 8 分配用プッシュボタン-2ロングコーヒー | | |

	P _{max} [bar]	T _{max} [°C]	マシンのタイプ	2 グループ	3 グループ
			液体	容量 [L]	
サービスボイラー	2	133	水/スチーム	10	15
熱交換器	12	133	水	0.18 x 2	0.18 x 3



DIMENSIONS			
		2 gr.	3 gr.
L	mm	798	998
	inches	31.4	39.3
L1	mm	570	770
	inches	22.4	30.3
Weight	Kg	75	87
	pounds	165	192

日本語

記号



一般的な警告



環境保護



警告:電気的な危険



取扱説明書のこれらのページは、マシンを操作する人を対象にしたものです。



警告:手を挟む危険があります



取扱説明書のこれらのページは、認可を受けた有資格技術担当者を対象にしたものです。



警告:高温の表面



LA CIBALI



1. 総則



マシンを使用または取り扱う前に、このユーザーマニュアルの警告および規則を注意深くお読みください。これは、マシンを操作する時の安全と衛生に関する重要な情報を提供するものです。

簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

- マシンは、お湯またはスチームを使用して、エスプレッソコーヒーおよびホットドリンクを作ること、およびカップを暖めること専用で設計されています。その他の使用はすべて非正規な使用と見なされます。
- マシンは、その使用に伴う危険を理解しており、しっかりしたトレーニングを受けたスタッフのみが使用できる場所に設置しなければなりません。
- マシンはプロによる使用専用です。
- この機器の安全な使用に関する監督を受けるか、あるいはその指示を受けることができ、かつそれに伴う危険性を理解できる場合、8歳以上の子ども、ならびに身体的、知覚的、または精神的能力が低下している人、あるいは経験と知識が不足している人でもこの機器を使用できます。
子どもはこの機器で遊んではいけません。
監督なしで子どもがクリーニングおよびユーザーメンテナンスをしてはいけません。
未成年者が使用する場合、成人の監督があるなしにかかわらず、地元の雇用法に違反してはいけません。
- マシンの使用中は必ずだれかがそこにいるようにしてください。
- 機器を戶外で使用してはいけません。
- 温度が氷点以下に下がる可能性のある室内で機器を保管する場合は、ボイラーおよび水回路チューブを空にしてください。
- 大気中の物質 (雨、太陽、および寒さ) に機器をさらさないでください。
- 噴流で機器をクリーニングしないでください。
- 騒音: 測定された音圧レベル 77 dB(A) (+/- 2.5dB)。
- 電源コードが破損した場合、認可された有資格技術者のみ交換することができます。
- マシンの使用が不適切である場合、あるいは上記以外の目的のために使用した場合、危険の原因になることがあります。メーカーは、機器の使用が不適切であるために引き起こされた損害に対して責任を負いません。



LA CIBALI



警告

設置、分解、および調整は、認可された有資格技術者が行わなければなりません。

このマニュアルの警告および規則は、マシンの安全な設置、使用およびメンテナンスに関する重要な情報を提供するものですので、注意深くお読みください。

簡単に参照できるように、この小冊子を手元に置いておいてください。

日本語

2.1 輸送および取り扱い

梱包

- マシンは適切な内部保護が付いた頑丈な段ボールのパッケージで配達されます。パッケージには、機器の取り扱いおよび保管時に従うべき規則を示す標準的な記号が使用されています。
- パッケージの指示に従って輸送する必要があります。また、細心の注意を払って取り扱い、いかなる種類の衝撃も避けなければなりません。
- 大気中の物質 (雨、太陽、および寒さ) に機器をさらさないでください。

受領時の確認

- 機器の受領時に、輸送書類がすべて正確であることを注意深くチェックしてください (パッケージのラベルと照らし合わせる)。
- オリジナルの梱包が破損していないことをチェックしてください。
- 梱包用材料から機器を取り出した後、機器とその安全装置が完全な状態であることを確かめてください。
- 梱包材料 (ビニール袋、ポリスチレン発泡体、ステープルなど) は潜在的な危険性があるので、子どもの手が届かないようにしておいてください。

梱包材料の廃棄に関するアドバイス



梱包材料はエコ対応でリサイクル可能です。環境保護のため梱包材料は単なるゴミとして捨ててはいけません。地元の規則に従い回収/廃棄物処理センターに持ち込んでください。



LA CIMBALI



取り扱い

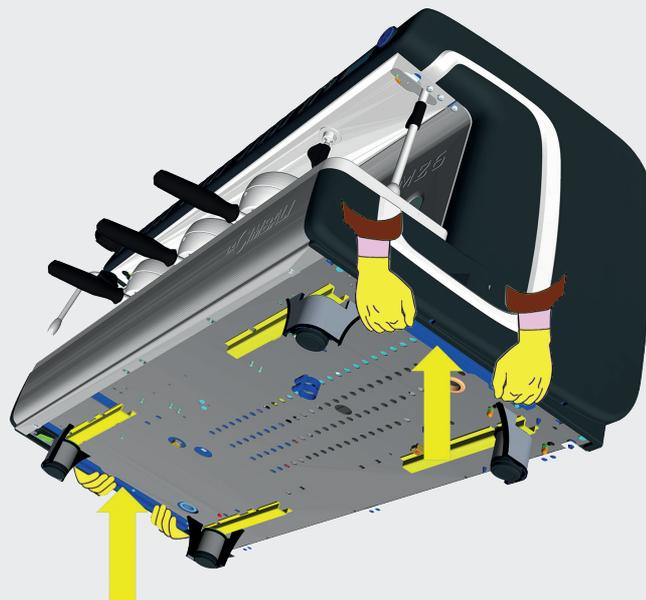
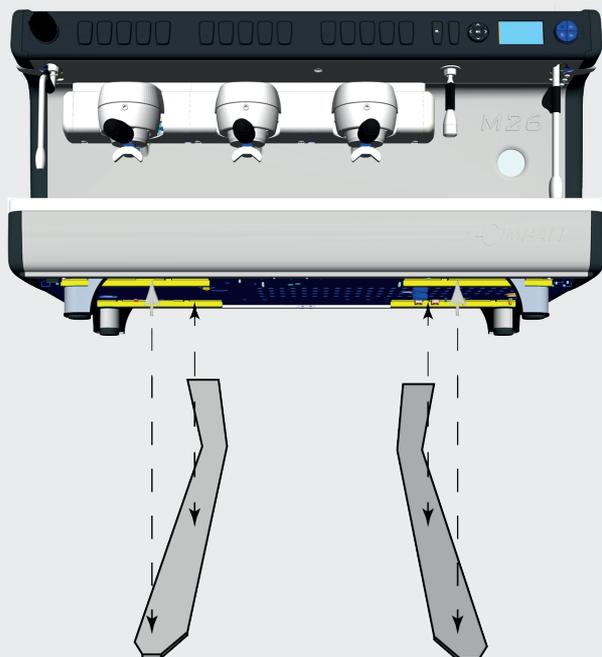


機器の移動責任者は、重量物を移動させることに伴う危険を熟知している必要があります。機器を注意深く移動させます。可能な場合は適切なりフティング機具を使用してください（フォークリフトなど）。

手で機器を移動させる場合は、以下を確認してください。

- 機器の重量、および取り扱いがどの程度困難かに応じて、この移動に十分な人数の人が作業できること。
- 必要な安全機具（靴/手袋）を常に使用すること。

日本語



2.2 設置規則

- 機器のプラグを入れる前に、銘板上の情報（電圧など）が電気システムおよび水道システムのそれと一致することを確認します。
- 電源コードの状態をチェックします。破損している場合、交換しなければなりません。
- 完全に、電源ケーブルを伸ばします。
- コーヒーマシンは、壁とカウンターから少なくとも20mm離れ、平らで安定した表面に配置する必要があります。マシンの最も高い表面（カップウォーマートレー）が少なくとも1.2メートルの高さに来るということを念頭においてください。付属品用の棚が近くにあることを確認します。
- 室温は10°C～32°C（50°F～90°F）の範囲でなければなりません。
- 電気コンセント、水道の接続部、およびサイフォンの排水管は、すぐ近くになければなりません。
- 噴流で清掃される部屋（台所）には、マシンを設置しないでください。
- 開口部、換気部、および排熱部を塞がないでください。
- 機器を戸外に設置しないでください。
- 爆発の危険性がある環境の中でマシンを設置したり使用したりしないでください。
- 可燃性の物質があるところにマシンを設置しないでください。



LA CIBALI



3. 電氣的設置規則

設置に先立ち、接触部の間に回路遮断器が設置されていることを確かめてください。これはカテゴリIIIの過負荷があった場合に完全に切断することができ、30mAの漏電から保護するものです。設置規則に従って電源に回路遮断器を設置する必要があります。

電源が適切に作動しない場合、機器は一時的な電圧降下を引き起こす場合があります。

施行されている電気の安全に関する法律に従って機能している接地システムに正確に接続されている場合にのみ、この機器の電氣的な安全が保証されます。この基本的な安全要件を確認しなければなりません。疑問がある場合は、有資格電気技術者にシステムの検査を依頼してください。メーカーは、電源の接地システムを使用しないことにより発生する損害に責任を負いません。

アダプター、複数のプラグ、延長コードを使用しないでください。

接続のタイプおよび電圧が銘板の情報に一致するかどうかチェックしてください。イラストの章の図1を参照してください。

Y接続のあるマシンについては、イラストの章の図2を参照してください。

Δ接続のあるマシンについては、イラストの章の図3を参照してください。

単相接続のあるマシンについては、イラストの章の図4を参照してください。

4. 水の設置規則

水の要件

コーヒーマシンで使用される水は、人の消費に適したものでなければなりません (施行されている法律と規則を参照)。

マシンの水取り入れ口をチェックし、pHと塩化物の値が現行法に準拠しているかどうか点検してください。

値が制限内にない場合、適切な水処理装置を挿入しなければなりません (地元の法律に準拠し、マシンと互換性があるものを使用)。

8°F (4.5 °D) を超える硬度の水を使用する場合、検出された硬度およびマシンの使用状況に応じて特定のメンテナンスプランを実行する必要があります。

警告

設置には納入された部品のみを使用してください。他の部品が設置されている場合、その部品は新品でなければなりません (水道接続用の未使用のパイプおよびガスケット)。また、人が消費するのに適している水道との接続に許可されたものでなければなりません (現行の地域の規則に準拠していること)。

水道との接続

機器を平面に置き、脚部を調節、固定し、安定させます。

設置国の衛生、水の安全性、および汚染防止の各法律に従い、イラストの章の図5で示されている通り水道接続部をつないでください。

備考: 水圧が6バール以上に上昇する場合は、減圧弁を2~3バールに設定して設置してください。イラストの章の図6を参照してください。

排水チューブ: 検査とクリーニング用のサイフォン付き排水チューブの端部を排水管に入れてください。

重要: 排水チューブの曲がり方がイラストの章の図7で示されているような曲がり方をしてはいけません。



5. 設置チェックアップ



警告: 設置後、マシンが正常に動作していることを点検してください (「設置モジュール C」を参照)。

水道との接続

- 接続部またはチューブから漏れがない。

機能

- ボイラーと運転圧が正常である。
- 圧力計が適切に作動している。
- 自己平準化装置が適切に作動している。
- 膨脹弁が適切に作動している。



警告: マシンの設置が完了して使用の準備ができたなら、作業者がマシンの使用を開始する前に、下記の指示に従って内部のコンポーネントを洗浄してください。

グループ

- グループ (コーヒー無し) にフィルターホルダーを取り付けます。
- 各グループに約1分間水を分配させます。

お湯

- 2グループのマシンでは少なくとも5リットルの水が使用されるまで、3グループのマシンでは少なくとも8リットルの水が使用されるまで、連続してお湯を (適切なボタンを押して) 分配します。
ユーザーマニュアルの「お湯の分配」の章を参照してください。

スチーム (ターボスチーム付きを含む)

- 適切なボタンを使用して、約1分間ノズルからスチームを分配します。



LA CIBALI



6. マシンを操作する作業者に関する規則

起動前



警告: マシンの操作を開始する前に、下記の指示に従って内部のコンポーネントを洗浄してください。
この手順は少なくとも1日1回、およびマシンを8時間以上操作していない場合に繰り返す必要があります。

日本語

グループ

- グループ (コーヒー無し) にフィルターホルダーを取り付けます。
- 各グループに約1分間水を分配させます。

お湯

- ディスプ DT バージョン。「ボイラー中の水の交換」のセクションの記載に従い、水を交換します。
- C バージョン / 表示なしのDT版。2グループのマシンでは少なくとも5リットルの水が使用されるまで、3グループのマシンでは少なくとも8リットルの水が使用されるまで、連続してお湯を (適切なボタンを押して) 分配します。
ユーザーマニュアルの「お湯の分配」の章を参照してください。

スチーム(ターボスチーム付きを含む)

- 適切なボタンを使用して、約1分間ノズルからスチームを分配します。

操作中

スチーム分配 (ターボスチーム付きを含む)

- ドリンク (水、ミルクなど) を熱する前に、少なくとも3秒間スチームノズルを開き、水滴が除去されるようスチームを逃します。

コーヒー分配

- マシンを1時間以上使用していない場合、お湯を使用する前に液体を約100cc分配し、廃棄します。

お湯の分配

- マシンを1時間以上使用していない場合、お湯を使用する前に液体を約200cc分配し、廃棄します。

コーヒーのクリーニング

- これらの回路のクリーニング方法は、ユーザーマニュアルの該当のセクションをお読みください。



LA CIBALI



7. 注意



やけどの危険

この記号でマークされたエリアは高温になります。これらのエリアの近くでは、細心の注意を払う必要があります。



WARNING: Hot surface
ACHTUNG: Heisse Oberfläche
ATTENTION: Surface chaude
ATTENZIONE: Superficie calda

全般

メーカーは、コーヒーマシンの不適切な使用、または意図された目的以外の使用により物品または人へ損害が生じた場合は、その責任からすべて免責されるものとします。

濡れた手や裸足の状態でコーヒーマシンを操作しないでください。

子ども、あるいは正しい使用方法について指示を受けていない人が機器を使用することがないようにしてください。

やけどの危険

手やその他の身体の部位がコーヒーを分配するグループに近づいたり、あるいはスチームおよびお湯のノズルの近くに来ることがないようにしてください。

カップウォーマートレー

コーヒーマシンで使用できるコーヒーカップ、カップ、およびグラスだけをカップウォーマートレーに置いてください。

コーヒーカップをカップウォーマートレーに置く前に、完全に水分を取っておいてください。

その他の物をカップウォーマートレーに置かないでください。

に、完全に水分を取っておいてください。
その他の物をカップウォーマートレーに置かないでください。



マシンの片付け

マシンが長時間（例えば何時間も）放置されていた場合、

以下の手順を実行してください。

- 関連の章に指示されている通りにクリーニングを行ってください。
- プラグを外すか、あるいはメインスイッチをオフにします。
- 給水栓を閉じます。

備考:自動でオンオフが切り替わるプログラムでできるマシンについては、この機能が有効化されている場合にのみ、電源をオンのままにしておくことができます。

これらの安全対策が遵守されない場合、不具合、器物の破損、および/もしくは人および/もしくは動物の負傷に対するすべての責任からメーカーは免責されるものとします。

8. メンテナンスと修理

マシンが適切に作動しない場合は、マシンを止め、メインスイッチをオフにし、サービスセンターに電話をしてください。

電源コードが破損している場合は、マシンのスイッチを切り、サービスセンターに交換を依頼してください。



操作中の安全を確保するためには、必ず以下の作業をおこなう必要があります。

- メーカーのすべての指示に従う。
- 認可を受けた有資格技術者に、定期的に安全装置がすべて完全に適切に機能していることをチェックしてもらい（購入から3年以内に最初の検査を行い、その後は毎年行う）。



警告

無資格の人によるメンテナンスは、マシンの安全性および適格性を危険にさらすことがあります。

修理は、有資格の認可された技術者だけが行うようにしてください。

警告

メーカーが保証した純正スペアパーツのみを使用してください。

純正スペアパーツを使用しない場合、メーカーの保証が失効します。

警告

メンテナンス後、ユーザーマニュアルの関連のセクションで示されている通りに設置のチェックアップを行ってください。





9. マシンの分解

電気機器は通常の一般廃棄物として処分することができません。

環境を保護するため、地域の現行法に従って解体してください。



適切に分別して廃棄物を処理してください。これにより、マシンを環境に優しい方法でリサイクル、処理、処分することができます。

これにより、環境と健康に対する悪影響を回避し、マシンの製造用素材の再利用やリサイクルを促進します。

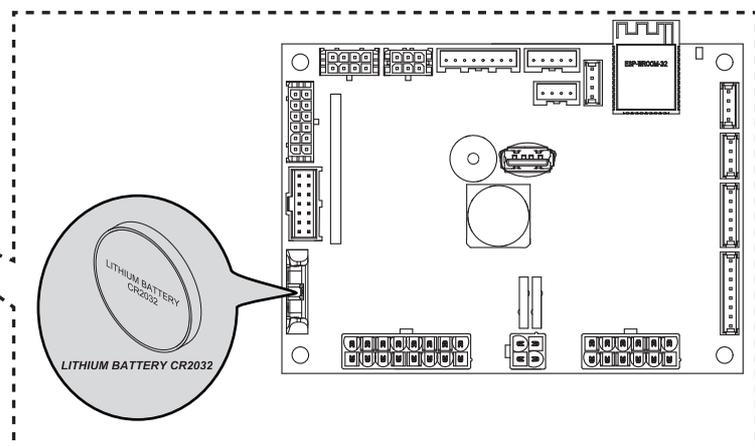
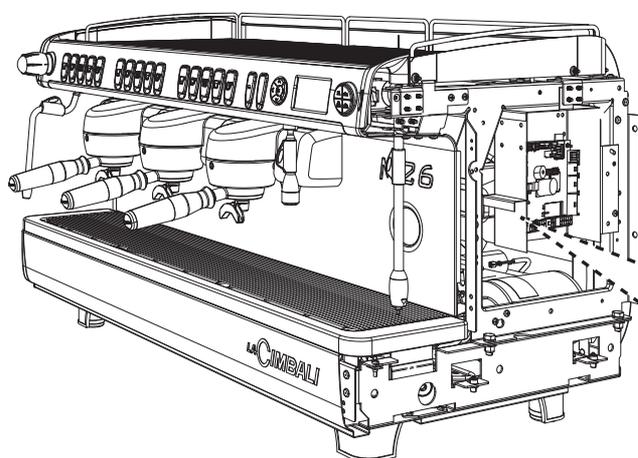
現行法に準拠せず、不適切な方法で電気機器を処分すると、行政上の罰金および刑事上の制裁を受けることになります。

環境情報 (ディスプレイ DT バージョンのみ)

この製品には、最終生産物として完全に密封された再充電できないリチウム (化学成分:リチウム二酸化マンガン) ボタン電池が含まれています。

電池メーカーの指示、および地元や国の処分とリサイクルの規則に従ってボタン電池を処分してください。

電池の位置





使用

10. 日常作業



「マシンを動かす前に以下について確認してください。

- 主電源スイッチがオンになっている。
- 主給水栓がオンになっている。」

手動による電力供給

ディスプレイ DT バージョン



点灯しているメインスイッチを押してください。
キーが点灯して次のメッセージがディスプレイに表示されます。



2

ボイラー中の水位が最小限度より低くなると、ボイラーは正しいレベルまで水が満たされます。この段階の終わりに、OK アイコンがディスプレイの左下隅に現れます。
マシンは、使える状態になる前に、事前に設定した作動圧力に到達していなければなりません。
START/STOP キーのいずれかをこの段階中に押すと、その時点で到達していた温度でコーヒーが作られます。
任意の分配キーを押すと、次のメッセージがディスプレイに表示されます。



3

マシンが使える状態になるのを待つ間、ユニットにフィルターホルダーを挿入します。
ディスプレイが作動圧力を示すと、マシンが動作する準備ができています。





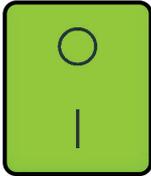
LA CIMBALI



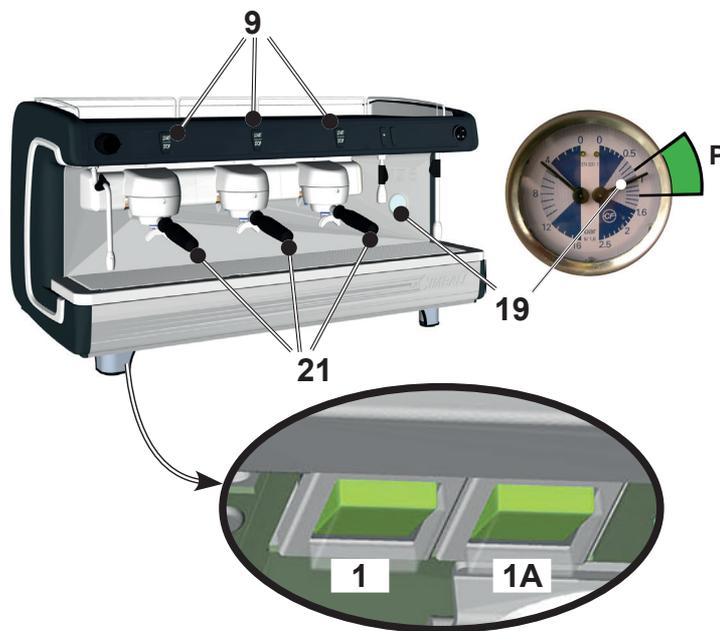
Cバージョン / 表示なしのDT版

日本語

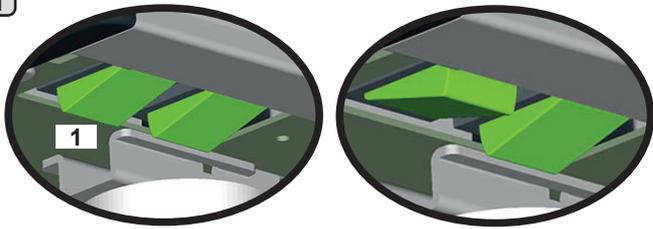
 順序に注意してスイッチ (1) と (1A) を起動します。



OFF
ON

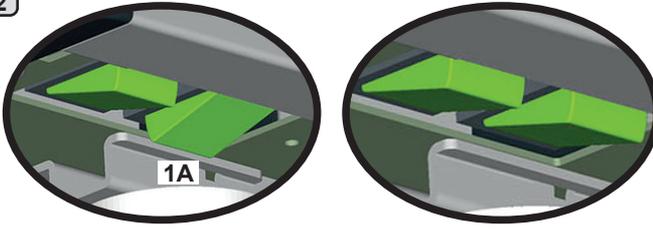


1



点灯しているメインスイッチ (1) をポジション  まで押し、関連のインジケータライトのスイッチがオンになりキーも点灯します。
ボイラー中の水位が最小限度より低くなると、ボイラーには正しいレベルまで水が満たされます。これは、マノメーターポンプの圧力が回復されたことによって示されます。

2



抵抗器 (1A) をポジション  で起動するライトのスイッチを押すのは、ボイラーへの充電プロセスが完了してからのみにしてください。関連のインジケータライトのスイッチがオンになり、加熱段階が始まります。
動作圧力 (約1.2 bar) がマノメーターに表示されるまで待ってください。
この時点でマシンは使用準備ができています。

加熱中にコーヒー分配のプッシュボタンのうちの1つを押すと、その時点で達していた温度でマシンがコーヒーを分配します。加熱は、ボイラー ゲージ インジケーター (19) がPの緑の領域に安定したままになると完了です。これで、マシンはコーヒー、スチーム、およびお湯を分配する準備ができています。

ディスペンサー ユニットとフィルターホルダー (21) が同様の温度にあることを確認し、コーヒー分配用のプッシュボタン (9) を押します。そして、マシンに数秒間コーヒーを分配させます。その後、プッシュボタン (9) を押して分配を停止します。



LA CIMBALI

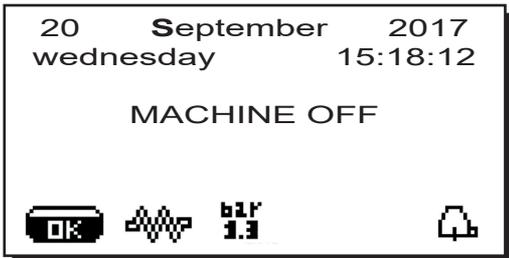


ディスプレイ DT バージョンのみ

自動スイッチオフ/スイッチオン

プログラムされた時刻にマシンをスイッチオフ、スイッチオンするように設定できます。「営業時間メニュー」の章を参照して、「ON Time (ON の時刻)」でスイッチオンの時刻、および「OFF Time (OFF の時刻)」でスイッチオフの時刻を設定してください。

営業時間を設定したら、マシンはプログラムした時刻に自動的にスイッチをオフにします。自動スイッチオフの段階では、次のメッセージがディスプレイに表示されます。



備考: マシンが自動的なオン/オフ機能で作動している時は、マシンのスイッチをオフにするのに総電源スイッチ (1) を使用してはいけません。これを使用すると、マシンは再度自動的にスイッチオンになることができません。

マシンは、プログラムした時刻に自動的にスイッチをオンにします。表示されるメッセージおよびマシンが実行した操作は、「手動による電力供給」の章に記載されているものと同じです。

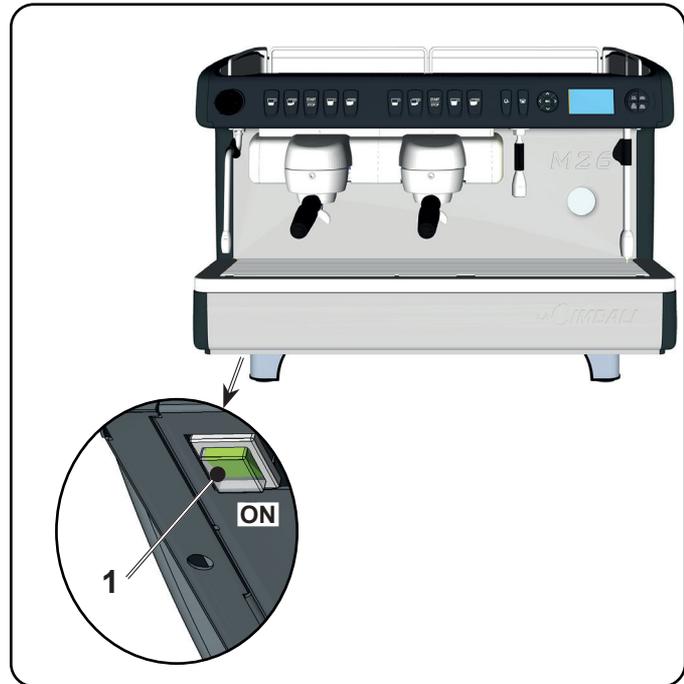
省エネスタンバイ

マシンのスイッチをオフにすると、省エネモードに設定できます。

この機能が有効化されても、マシンの抵抗は完全には無効化されません。そして、ボイラー圧力が0.2バールで維持されます。

備考: 省エネモードでオフにした後の日が「休業日」として設定されると、マシンは完全に24時間オフになります。そして、休業日の終わりにボイラーの圧力を0.2バールに維持するように戻ります。

この機能を設定するには「サービス時間メニュー」を参照してください。



省エネモード

省エネモードの機能は、キーを手動で押して数秒間保持しておくことでも有効化できますOK。

この段階中:

- ボイラー圧力が1.2バール以上の値に設定されている場合、圧力は0.8バールまで低下します。
- ボイラー圧力が1.2バール以下の値に設定されている場合、圧力は0.4バールまで低下します。

いずれかの分配キーを押して省エネモードを終了し、マシンの作業段階に戻ります。

強制スイッチオン

いずれかの分配キーを押し、マシンを再度強制的にオンにします。

備考: マシンを強制的にオンにしてもプログラムされたオン/オフの時刻は変更されません。

備考: この時点では、次のスイッチオフの時刻が来るまでは、マシンはオンのままになります。

元々プログラムされていた通りにマシンを直ちに「オフ」に戻すには、総電源スイッチ (1) を使用してスイッチのオフにし、再度オンにします。



11. ディスプレイの記号の説明 (ディスプ DT バージョンのみ)

水位



この記号はボイラーの水位を示します。
 充填段階では、アイコンの底部が点滅します。
 最適なレベルに到達したら、記号が  のようになります。

抵抗



この記号 (内側が暗い) は、抵抗が有効化され機能していることを示します。

ボイラー圧力が設定値に達すると、アイコンは



内側が明るく見えます。

マシンが作動している場合、2 個のアイコン



はディスプレイ上で交互に表示され、電気加熱が起動していることを表します。



これは、加熱抵抗が無効化されたことを示します。

備考:顧客は電氣的加熱のスイッチをオンオフできません。



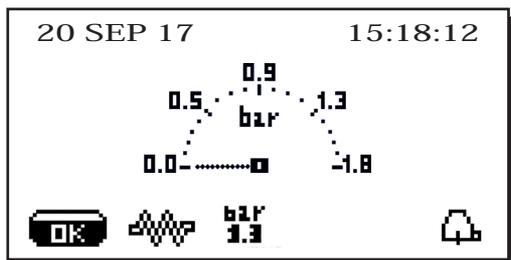
オン/オフ機能がプログラムされている場合、電氣的加熱は自動的に行われます。

サービスボイラー圧力

この記号はボイラーの圧力値を示します。



◀キーを約3秒間押しすると、圧力計がアナログで表示されます。ディスプレイには次のように表示されます。



約3秒間 ◀キーを長押しすると、通常のディスプレイモードに戻ります。



この記号はマシンがあらかじめ加熱されているか、ボイラー圧力が0.5バール以下に落ちていることを示します。

この段階の間、ディスプレイがこの記号を交互に示し、そのうちの1つがボイラー圧力を示します。

マシンが設定した動作圧力および動作温度に達すると、アイコン

 がディスプレイから消えます。

カップウォーマー (*)



これらの記号は、カップウォーマーに現在選択されている出力を示します。

記号なし = OFF

 = 最大電力記号

WIFI (*)

WIFI接続記号:



- ネットワークは存在するが接続されていません。



- ネットワークに接続されています。

BLUETOOTH (*)

これらの記号はBluetoothによる通信を示しています。



- アイコンは、マシンにBluetoothモジュールがあることを示しています。



- アイコンは、マシンがBluetoothグラインダー/ディスペンサーと通信していることを示します。

USB



USBのペンドライブが接続されると、この記号がディスプレイに表示されます。

フロー制御 (使用中の場合のみ)

このアイコンが点灯した場合、グラインディングを締めるか緩めるかして、コーヒーの容量が正しいパラメーターに戻るようグラインダー - ディスペンサーを調整する必要があることを意味します。

表示されるアイコンは次の通りです。



これは、グラインディングを緩める必要があることを表します。(コーヒーのフローは基準未満)。



これは、グラインディングを締め付ける必要があることを表します。(コーヒーのフローは基準を上回っている)

備考:アイコン (1 または 2) の隣の数字は、使用しなければならないグラインダー - ディスペンサーを指定します。

アイコンは、レベルシンボルの代わりにディスプレイに表示されます。

技術的プログラミングメニュー



この記号は、技術的なプログラミングメニューにアクセスすることができることを示します。

(*) コンポーネント - * - は一部の製品の構成のみに適用されます。



LA CIBALI



12. ボイラー内の水の交換 (ディスプレイ DT バージョンのみ)



ボイラーの水は少なくとも1日に一度交換しなければなりません。

備考:「WATER CHANGE (水の交換)」機能は技術者がプログラムできます。この場合、リクエストメッセージが設定された時刻に表示されます。そして水の変更のサイクルは中断できません。

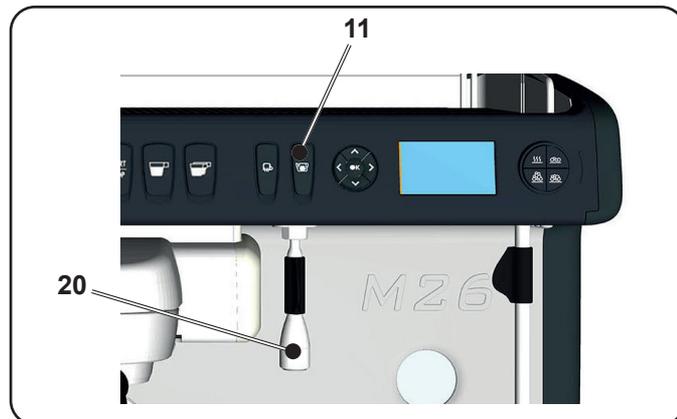
日本語

ディスプレイ上 (取り付けられている場合) の指示が作動圧力の値に対応していることを確認してください。

お湯のディストリビュータ キー (11) を約5秒間押し下げてください。

以下のメッセージが表示されます。「WATER CHANGE...% (水の交換...%)」ボイラーからの水が、お湯のノズル (20) (総容量のおよそ60~70%) から流出します。

ボイラー抵抗およびすべての分配キーが無効化されます。



分配は自動的に止まります (備考:デリバリーはプッシュボタン11によりいつでも中断できます)。

この手順後、マシンは通常の機能に戻り、ボイラーには新鮮な水が補充されます。

13. カップウォーマー (適用可能な場合)



注意:どのようなタイプの布であれ、布でカップウォーマートレーは覆わないでください。

マシンには、カップをストックするためのカップトレイ (3) があります。

コーヒーマシンで使用できるカップとグラスのみをカップトレイ上に置きます。その他の物をトレイに置かないでください。カップは、トレイに置く前に完全に乾かしておきます。

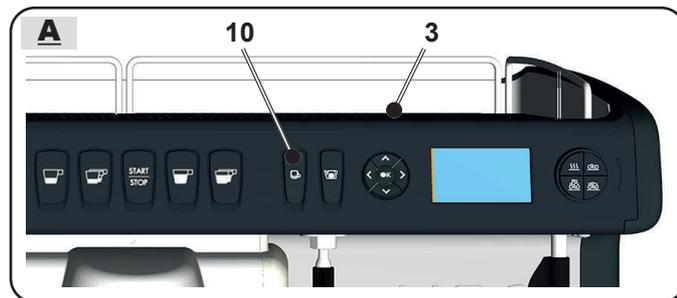
A バージョン。備考:カップウォーマートレー (3) の加熱は、自動スイッチオフの段階でオフになります。

マシンをスイッチオフにした時点でオンであった状態は、次にマシンが自動でスイッチオンされた時に回復します。

省エネモードを有効化すると、カップウォーマーは自動でレベル 1にセットされます。

カップウォーマートレー (23) の抵抗を有効化するには、ボタン (22) を押して、カップウォーマーのパワーを変更し、(22) キーで回数を変更します。

B バージョン。ボタン (10) を押してランプが点灯するかどうかチェックします。



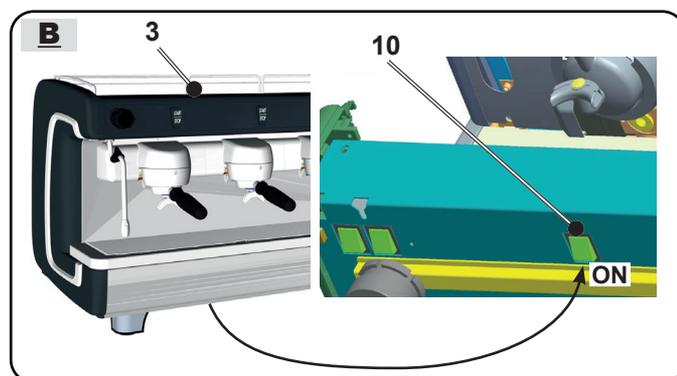
- = 最大電力記号

- = 中位電力記号

- = 最小電力記号

- 記号なし = OFF

従って、トレイ加熱 (23) を無効化するには、記号がディスプレイに表示されなくなるまで、キー (22) を数回押します。





LA CIMBALI



14. コーヒー分配

フィルターホルダーを外し、先に使用したコーヒーの粉を出しから入れの中に捨てます。

円錐形のフィルター付きの1カップ用フィルターホルダーの場合は1回分の挽いたコーヒーでフィルターを満たすか、円筒形のフィルター付きの2カップ用フィルターホルダーの場合は2回分の挽いたコーヒーでフィルターを満たします。

グラインダーの加圧ディスクでフィルターホルダーの挽いたコーヒーを均等に押します。

残りの挽いたコーヒーを除去するため、フィルターの縁部をクリーニングします。

グループにフィルターホルダーを取り付け、1個か2個のカップをフィルターホルダーのデリバリースパウトの真下に置きます。

DT バージョン。好みの分量に対応するコーヒー分配キーを押します。選択したキーに対応する LED は点灯したままになり、コーヒーが分配されます。分配は自動的に止まります。

連続分配を行うには、プッシュボタン **START STOP** を押します。

分配は、一定量の分配か連続分配かに関わらず、いつでも **START STOP** ボタンを押して中断することができます。



C バージョン。コーヒー分配ボタン **START STOP** を押して分配してください。

希望の分量が得られたら、ボタン **START STOP** を再度押して分配を止めます。



コーヒーの分配が完了するまで、コーヒーフィルターを取り外さないでください。

日本語

15. お湯の分配



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置(A)を使用してください。

お湯の分配はエコマイザーによってコントロールされます。これによりボイラーからのお湯がメインパイプからの新鮮な冷水と混合されて温度がコントロールされます。

このシステムにより水質が改善され、オペレーターが最良の結果を出すことが保証されます。

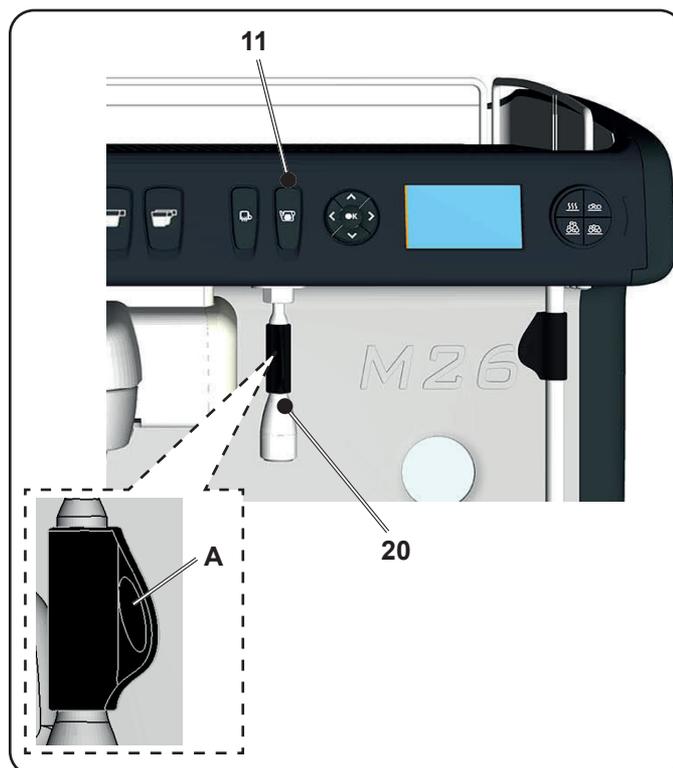
適切な容器をお湯のディスペンサー (20) の下に置きます。

お湯の分配キー (11) を押します。

お湯のプログラム済みの分量はディスペンサー (20) から注がれ、自動的に停止します。

注:

- 分配はキー (11) を押すことによりいつでも中断できます。
- 送水される水の温度を調整するエコマイザーの調整は設置担当のサービス技術者によって行われます。





LA CIBALI



「自動学習」機能を使用した分量のプログラミング

コーヒー用の水の分量とお湯の分量も「自動設定」機能を使用して設定できます。



コーヒー計量

- 1 - フィルターホルダーを、必要な分量のコーヒー粉で満たし、ディスペンサーユニットに挿入します。
- 2 - カップまたは容器をフィルターホルダーのスパウトの下に置き、ボタンを押してプログラムします。カップまたは容器で希望のレベルに達するまで押し続けます。



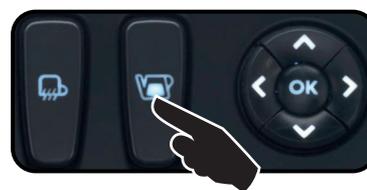
この段階の間、体積用量パルスの設定 (ディスプレイの右上 (°)) が増加します。キーを手離すと、到達した設定が記憶されプログラムキーの下に現れます。

- 3 - ステップ1から開始して、希望に応じてすべてのコーヒーボタンでプログラミングを継続します。

START/STOP (停止) ボタンを少なくとも8秒間、あるいはブザー音が聞こえるまで (プログラミングの間、常に鳴り続けます) 長押しします。下記のメニューがディスプレイに現れ (°)、コーヒー用の水量を示すキーが表示されます。

お湯の計量

- 1 - プログラムするボタンを押し、カップの希望のレベルに達するまで押し続けます。



- 2 - ステップ 1から開始して、希望に応じてすべての水ボタンでプログラミングを継続します。

完了したら、START/STOP (停止) ボタンを押します。ブザーがオフになり、プログラミングが完了したことが確認できます。

16. スチーム分配



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置 (A) を使用してください。

カプチーノ用ミルクの加熱

一般事項

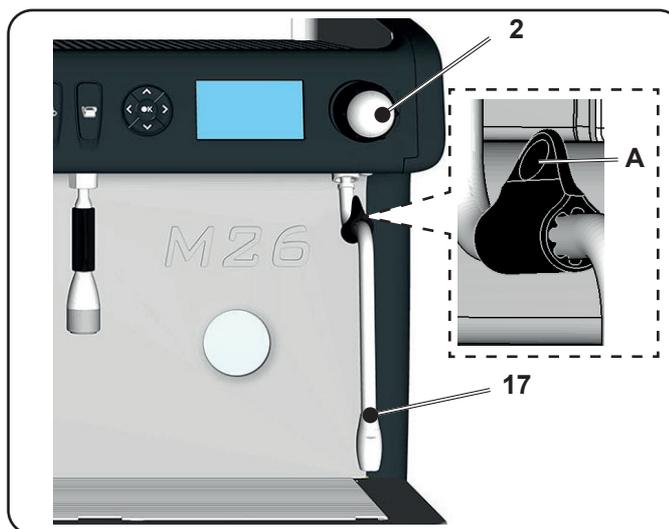
ミルクはデリケートな生物学的製品で、悪くなりやすいものです。熱により構造が変化します。ミルクは、容器を開けた時点から使用中は常に5°C (41°F) 以下の保存温度で保存する必要があります。当社の保存装置はこの目的に適しています。

備考:営業日の終わりに (または容器を開けてから24時間以下) 残りの全てのミルクを廃棄する必要があります。

ノブコントロールによるスチーム分配

スチーム泡立てシステム (2) は、徐々にスチームフローを開くことができるので、混合される必要のあるドリンクに適しています。

スチーム分配ワンド (17) を適切な容器に挿入します。スチームを開きますが、飲み物が加熱される場合は閉じてください。



スチーム分配パイプのクリーニング

各スチーム分配の段階の終了時:

- 清潔なスポンジを使用してお湯で洗い、有機残留物を除去します。丁寧にすすぎます。
- スチームノズルの内部を以下のようにして洗浄します。カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームの分配を行います。



16.1 ターボスチームセクター (2a) による分配 (適用可能な場合)



熱湯によるやけどの危険!ウォーターノズルとスチームノズルを移動させるには、適切な絶縁装置 (A) を使用してください。

カップチーノ用ミルクの加熱

一般事項

ミルクはデリケートな生物学的製品で、悪くなりやすいものです。熱により構造が変化します。ミルクは、容器を開けた時点から使用中は常に5°C (41°F) 以下の保存温度で保存する必要があります。当社の保存装置はこの目的に適しています。

備考: 営業日の終わりに (または容器を開けてから24時間以下) 残りの全てのミルクを廃棄する必要があります。

ターボスチームセクター (2a) による分配

(適用可能な場合)

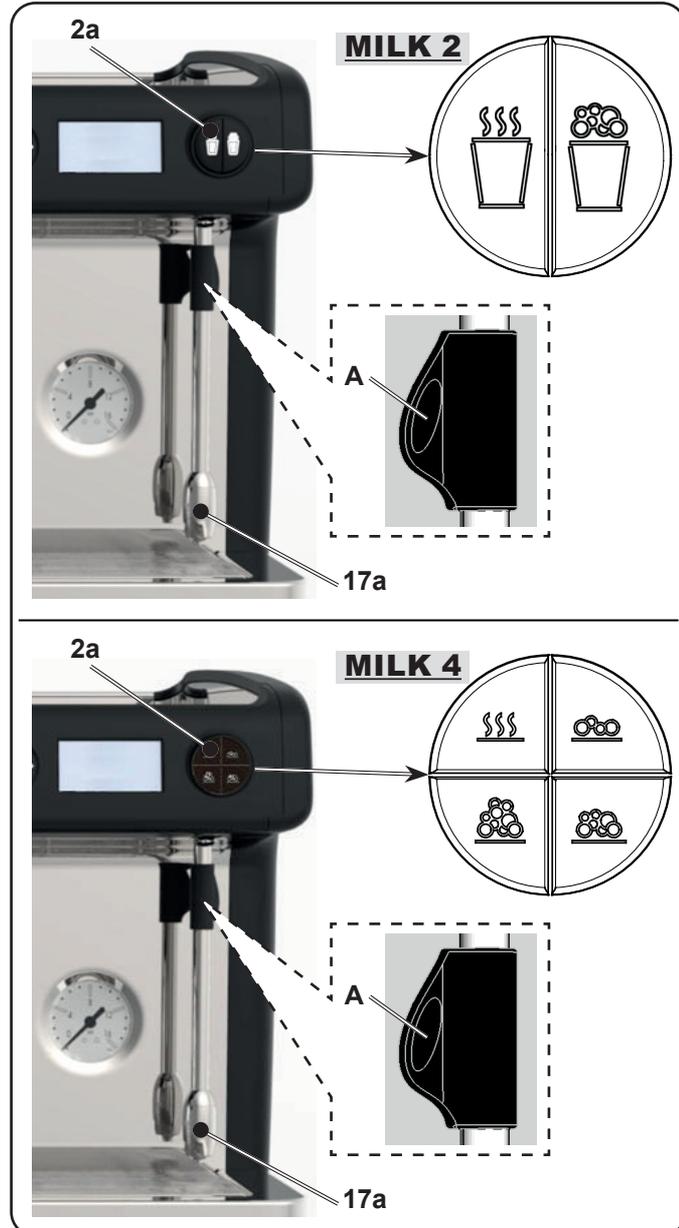
ターボスチーム (ストップ スチーム) 分配システムを装備したマシンは「設定温度に達すると、スチームの分配を停止する」機能を持っていて、素早くミルクを加熱して泡立てることができます。

ターボスチームセクターキーは以下の構成に応じてさまざまな機能を持っています。

MILK 2	MILK 4
 泡立てられたミルク、	 加熱されたミルク。
 加熱されたミルク。	 泡立てられたミルク、 (泡立てが低);
	 泡立てられたミルク、 (泡立てが中);
	 泡立てられたミルク、 (泡立てが高);

適切な容器にスチームノズル (17a) を挿入します。バルブがミルクに完全に浸されていることを確かめます。

希望のミルクのタイプを選択し、関連のキーを押します。設定温度に達すると、スチームの分配は自動的に止まります。分配はターボスチームセクターキー (2a) を押すことによりいつでも中断できます。



スチーム分配パイプのクリーニング

各スチーム分配の段階の終了時:

- 清潔なスポンジを使用してお湯で洗い、有機残留物を除去します。丁寧にすすぎます。
- スチームノズルの内部を以下のようにして洗浄します。カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームの分配を行います。



17. マシンのカスタマイズ (技術スタッフにより実行できます)

は一部の製品の構成のみに適用されます

フロー制御

フロー制御は、技術者が設定した対応する基準と比較したコーヒーのフローを監視します。

このシステムが起動している時、必要であれば、コーヒーの分量を適切なパラメーターに戻すため、グラインダー - ディスペンサーがグラインディングを締め付けたり緩めたりするのに調整が必要であることをマシンはユーザーに通知します。

レベルシンボルの代わりにサービスディスプレイにアイコンが点灯し、ユーザーはそれを認識することができます。

アイコンが初めて表示される時は、ブザー音が鳴ります。表示されるアイコンは次の通りです。



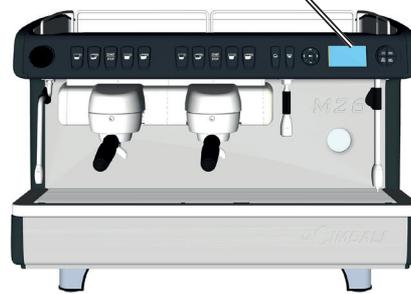
これは、グラインディングを緩める必要があることを表します。
(コーヒーのフローは基準未満)。



これは、グラインディングを締め付ける必要があることを表します。
(コーヒーのフローは基準を上回っている)

備考:アイコン (1 または 2) の隣の数字は、使用しなければならないグラインダー - ディスペンサーを指定します。

グラインダー - ディスペンサーの調整後、フローが設定限度内に戻ると、アイコンは自動的に消えます。この状態になるには、数回分配することが必要になるかもしれません。



BDS - Barista Drive System

BDS システムは、コーヒーマシンおよび Bluetooth で接続されている1個または2個の電動計量グラインダーから構成されています。

マシンのすべての分配ボタンは、レシピタイプおよび対応するグラインダー/ディスペンサーに応じて設定されています。

BDSシステムの目的は、ユーザーがコーヒーをグラインドし、分配する作業をガイドして、それによって操作をシンプルで直感的なものにすることにあります。

システムのアクティベーションおよび設定は、技術スタッフが行います。

動作論理

グラインダー/ディスペンサーはフィルターホルダーを認識し、作業を簡単に、かつユーザーフレンドリーにするコーヒーキーを有効にする信号をマシンに送ります。

バーマンは混合物に関連付けられたフィルターホルダーの位置を調整します。グラインダー/ディスペンサーはフィルターホルダーの種類を認識し、挽いたコーヒーを正確な量だけ分配します。同時に、飲み物の準備のためにどの選択を有効にするかの信号をマシンに送ります。

この時点では、バーマンはフィルターホルダーを取り付け、有効化されたキーを押して分配する以外、行うことはありません。





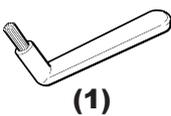
18. クリーニングとメンテナンス



食品安全性システム (HACCP)の正しい適用については、このパラグラフの指示に従ってください。
 洗浄は、オリジナルの「サービスライン」製品を使用して実行しなければなりません (詳細は最終ページを参照)。その
 他の製品の場合、食品と接触する資材の適性を損なう可能性があります。

日本語

クリーニング間隔の全般的概要					
	1回の使用ごとに	毎日	毎週	必要な場合、またはSW経由で要求された場合	使用するツール
コーヒー回路		√		√	• ブラシ (1) • ラバーディスク (2) • 洗剤パウダー (3)
コーヒーグループ		√			• ブラシ (1)
ボイラー水の交換		√		√	
フィルタ ホルダー		√			• 容器 (4) • 洗剤パウダー (3) • スポンジ (5)
スチーム パイプ	√	√			• スポンジ (5)
自動スチーム パイプ	√	√			• スポンジ (5)
水パイプ		√			• スポンジ (5)
グリルとトレイ		√			• スポンジ (5)
排水トレイ			√		• 容器 (4) • スポンジ (5)
本体構造		√		√	• 柔らかい布 (6)
コーヒーディスペンサーグループシャワー (SPURGE)	√				
カップトレイ表面		√			• スポンジ (5)



(1)



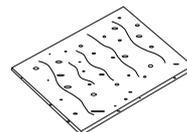
(2)



(3)



(4)



(5)



(6)

クリーニング作業の詳細は、以下のページの専用セクションを参照してください。





LA CIBALI



営業終了時にすべてのグループ、あるいはマシンが指示した時に従うべき手順。

コーヒー回路のクリーニングサイクル

洗浄サイクルには、コーヒーが分配される際に蓄積されるグリースや汚れをすべて除去する、という目的があります。

回路の洗浄を行わないと、これらの残留物が凝固する可能性があります。これは、コーヒー回路の性能を損なうこととなります。

備考:マシンがオンであり、圧力がかかっている時は、以下の操作を実行しなければなりません。

ディスプレイ DTバージョンのグループ

日本語

コーヒー回路

注記、熱湯でやけどする危険:洗浄サイクル中、お湯とスチームがグループから排出されます。

マシンが警告をメッセージを送信すると、「EXECUTE

COFFEE WASHING」(コーヒー洗浄を実行してください)のメッセージがディスプレイに表示されます。

このリクエストは1時間、あるいは洗浄サイクルが実行されるまで表示されたままになります。

コーヒー回路は以下の方法でも洗浄できます。

- **simultaneous (同時)**:すべてのグループが同時に洗浄されます。
- **sequential (連続)**:それぞれのグループは別々にかつ連続して洗浄されます。したがって、洗浄していないグループを続けて使用することができます。

備考:同時洗浄モードは7分間続きます。単一洗浄モードは、コーヒーディスペンサーの各グループごとに7分間続きます。

3番めのタイプの洗浄サイクルも可能です。

- **single (単一)**:複数のグループのうち特定の1つのグループだけ洗浄サイクルを実行することができます。残りのグループは洗浄されません。洗浄サイクルに含まれないグループは、その洗浄時間中でも使用することができます。

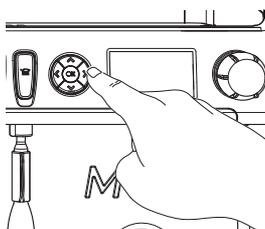
備考:マシンが警告メッセージを発した場合、単一洗浄サイクルは実行できません。

備考:一旦洗浄サイクルが開始すると、マシンのスイッチをオフにしても止めることはできません。

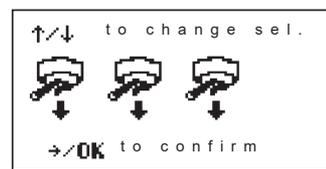
停電があった場合、電力が復旧すると「EXEXECUTE WASHING (洗浄実行)」のメッセージが表示されます。上記の記載に従い、クリーニングの作業を終えてください。

備考:洗浄サイクルメッセージが表示されず、かつマシンが頻繁に使用される場合、洗浄サイクルはいつでも実行できます。

▶キーを押します。



▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。



キー ◀を押すことにより、洗浄の選択パネルを終了できます。

マシンのリクエストなしで行なわれた洗浄サイクルは、マシンのスイッチをオフにした後にオンにすることで中断することができます。

実行しなかったプログラム済みの洗浄サイクルは、マシンに記憶されます。

備考.技術者は「ブロック」機能を有効または無効にする権限を持っています。

「ブロック」が有効化されると、洗浄サイクルが1時間以内に実行されない場合、マシンはドリンクの分配を停止します。

洗浄サイクルを実行するには、次ページの手順に従ってください。



LA CIMBALI



SIMULTANEOUS WASHING (同時洗浄)



営業終了時にすべてのグループ、あるいはマシンが指示した時に従うべき手順。

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。

3

▶キーを押します。

4

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。

5

同時洗浄画面(プリセットモード)がディスプレイに表示されます。

6

キーOKを使用して、洗浄モードを確認してください。画面に以下が表示されます。

7

フィルターが付いたフィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

8

5G(小さじ2杯分)の洗剤パウダーを注いでください。

9

グループにすべてのフィルターホルダーを取り付けます。

10

▶キーを押します。

11

洗浄サイクルが開始し、「GR...WASH(グループ...洗浄)」メッセージがディスプレイ上で交互に現われます。

分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

12

洗浄サイクルが終わると、「REMOVE GROUP FILTER HOLDER(グループフィルターホルダーを取り外してください)」のメッセージが表示されます。

13

フィルターホルダーを取り外します。

14

▶キーを押します。

15

メッセージ「GR...RINSE(グループ...すすぎ)」メッセージがディスプレイ上で交互に現われます。

16

すすぎの段階後、洗浄サイクルが完了します。

日本語



連続洗浄

LA CIMBALI



営業終了時にすべてのグループ、あるいはマシンが指示した時に従うべき手順。

日本語

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。

3

▶ キーを押します。

4

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。

5

同時洗浄画面(プリセットモード)がディスプレイに表示されます。

6

▲と▼キーを使用して、連続洗浄サイクルにパスします。マシングループのスクロールするアイコンが、ディスプレイに現われます。

7

キーOKを使用して、洗浄モードを確認してください。画面に以下が表示されます。

8

フィルターが付いたフィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

9

5G(小さじ2杯分)の洗剤パウダーを注いでください。

10

フィルターホルダーをグループ1に取り付けます。

11

▶ キーを押します。

12

グループ1の洗浄サイクルが開始し、「GR1 WASH(グループ1洗浄)」のメッセージがディスプレイに表示されます。

分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

13

グループ1の洗浄サイクルが終わると、「REMOVE FILTER HOLDER GROUP 1(フィルターホルダーグループ1を取り外してください)」が表示されます。

14

フィルターホルダーを取り外します。

15

▶ キーを押します。

16

メッセージ「GR1 RINSE(グループ1すすぎ)」が表示されます。

17

グループ1のすすぎサイクルが終わると、「EXECUTE GROUP 2 WASH(グループ2洗浄実行)」のメッセージが表示されます。

18

すべてのマシングループに対して上記の操作を繰り返します。



LA CIMBALI



単一洗浄:マシンが警告メッセージを示した場合は実行できません。



営業終了時にすべてのグループで実行する手順。

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。

3

▶キーを押します。

4

▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。

5

同時洗浄画面(プリセットモード)がディスプレイに表示されます。

6

▲と▼キーを使用して、単一洗浄にパスします。洗浄されるグループが長方形でハイライトされます。

7

▲と▼キーを使用して、洗浄されるグループを選択します。

8

キーとOKを使用して、選択(例えば、グループ3)を確認します。画面に以下が表示されます。

9

フィルターが付いたフィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

10

5G(小さじ2杯分)の洗剤パウダーを注いでください。

11

フィルターホルダーをグループ3に取り付けます。

12

▶キーを押します。

13

グループ3の洗浄サイクルが開始し、「GR3 WASH(グループ3洗浄)」のメッセージがディスプレイに表示されます。

分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

14

グループ3の洗浄サイクルが終わると、「REMOVE FILTER HOLDER GROUP 3(フィルターホルダーグループ1を取り外してください)」が表示されます。

15

フィルターホルダーを取り外します。

16

▶キーを押します。

17

メッセージ「GR3 RINSE(グループ3すすぎ)」が表示されます。

18

すすぎの段階後、洗浄サイクルが完了します。

19

洗浄を行うグループでこれらの手順を繰り返します。

日本語



LA CIMBALI



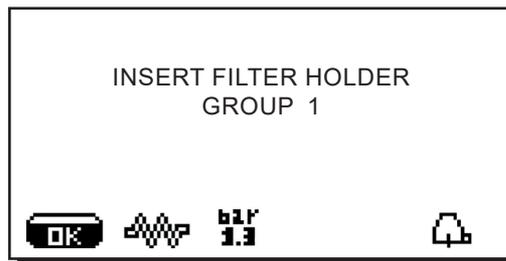
ブロック機能

マシンがブロックされると、警告メッセージがディスプレイに現われます。キー▶を押して、ディスプレイ上の指示に従うと、洗濯サイクルが実行されマシンのブロックがなくなります。例えば、「コーヒーのブロック」がある場合、以下のメッセージがディスプレイに現われます。



「ブロックされたグループ」の数はディスプレイ上で点滅しますが、これはマシングループの数に依存します。

▶ キーを押すと、表示の通り、以前のメッセージが統合されます。



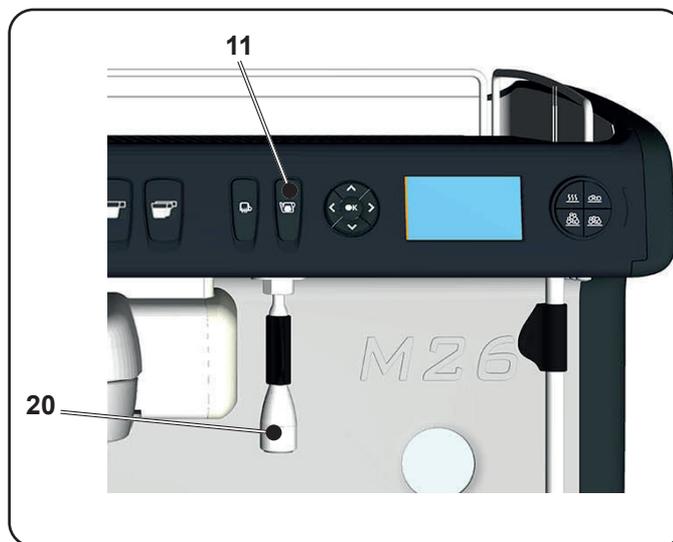
「INSERT FILTER HOLDER - GROUP 1 (フィルターホルダーグループ1挿入)」メッセージが現れると、グループ 1のブロックメッセージが消えます。洗浄される必要があるグループのブロックメッセージが交互に現れます。この時点で、以前のページのステップに従って洗浄サイクルを行ってください。

日本語

ボイラー中の水の交換 - 少なくとも1日1回実行する手順

ディスプレイ DT バージョン。お湯のディストリビュータキー (11) を約5秒間押し下げてください。以下のメッセージが表示されます。「WATER CHANGE ...% (水の交換...%)」。ボイラーからの水が、お湯のノズル (20) (総容量のおよそ60~70%) から流出します。分配は自動的に止まります。この手順後、マシンは通常の機能に戻り、ボイラーには新鮮な水が補充されます。

C バージョン / 表示なしのDT版。2グループのマシンでは少なくとも5リットルの水が使用されるまで、3グループのマシンでは少なくとも8リットルの水が使用されるまで、連続してお湯を (適切なボタンを押して) 分配します。





ディスプレイなしのDTバージョンのグループ



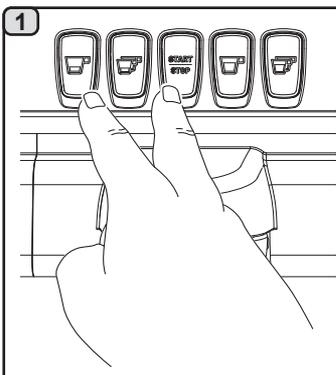
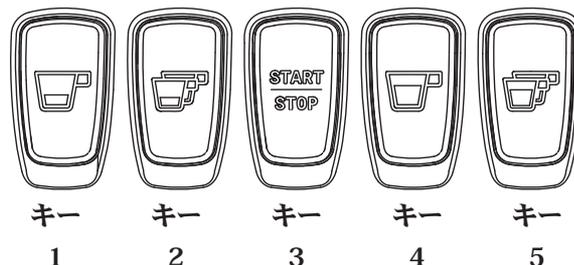
各営業日の終わりごとにすべてのグループに実行する必要がある操作

ディスプレイなしまたはキーボード設定なしで、マシンのコーヒーグループを同時に洗浄するためのガイドされた手順。

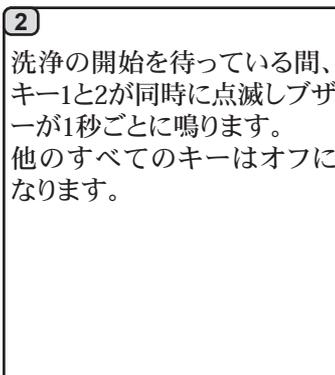


この機能はマシンのスイッチをオンにした場合にのみ利用できます。電子ボードのブザーから5回の「ピープ音」が連続して聞こえます。

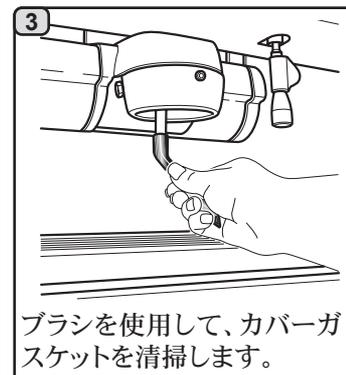
グループキーボード



1 洗浄機能を起動するには、コーヒーグループのキー1と3を押しながらマシンをオンにします。これはピープの連続音がしてから5秒以内に行う必要があります。



2 洗浄の開始を待っている間、キー1と2が同時に点滅しブザーが1秒ごとに鳴ります。他のすべてのキーはオフになります。



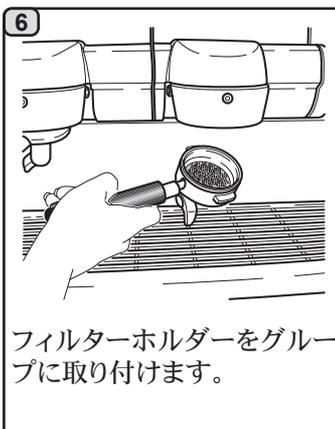
3 ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。



4 フィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。



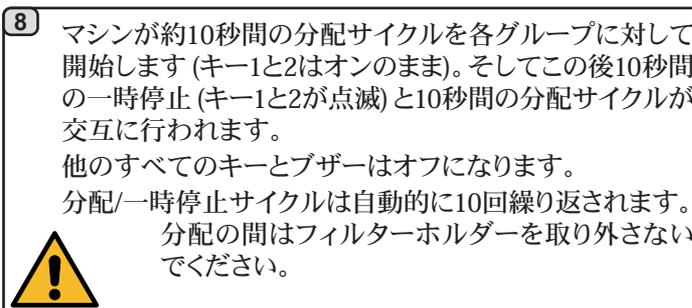
5 5G (小さじ2杯分) の洗剤パウダーを注いでください。



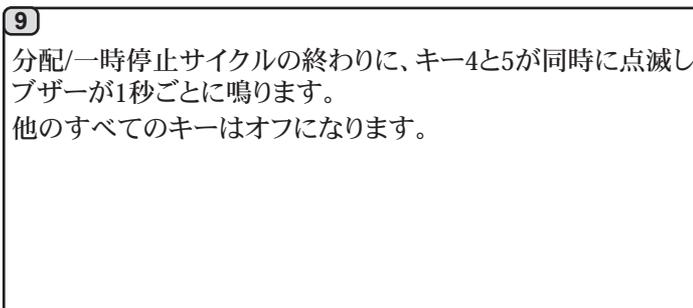
6 フィルターホルダーをグループに取り付けます。



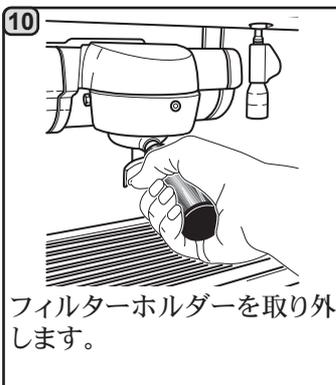
7 キー3を押して次のステップに進みます。



8 マシンが約10秒間の分配サイクルを各グループに対して開始します (キー1と2はオンのまま)。そしてこの後10秒間の一時停止 (キー1と2が点滅) と10秒間の分配サイクルが交互に行われます。他のすべてのキーとブザーはオフになります。分配/一時停止サイクルは自動的に10回繰り返されます。分配の間はフィルターホルダーを取り外さないでください。



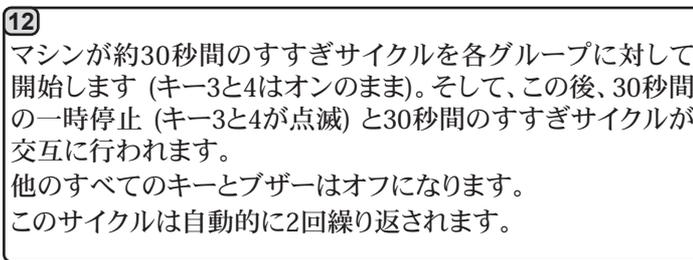
9 分配/一時停止サイクルの終わりに、キー4と5が同時に点滅しブザーが1秒ごとに鳴ります。他のすべてのキーはオフになります。



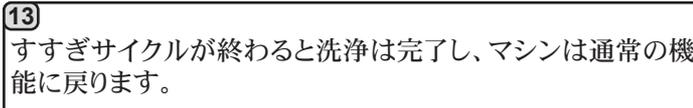
10 フィルターホルダーを取り外します。



11 キー3を押して次のステップに進みます。



12 マシンが約30秒間のすすぎサイクルを各グループに対して開始します (キー3と4はオンのまま)。そして、この後、30秒間の一時停止 (キー3と4が点滅) と30秒間のすすぎサイクルが交互に行われます。他のすべてのキーとブザーはオフになります。このサイクルは自動的に2回繰り返されます。



13 すすぎサイクルが終わると洗浄は完了し、マシンは通常の機能に戻ります。

注: 洗浄サイクルを中断する時はマシンをオフにしなければなりません。再起動すると自動的に機能するようになります。

日本語



LA CIMBALI



Cバージョンのグループ



各営業日の終了時にすべてのグループに対して実行される操作。

日本語

1

コーヒーグループからフィルターホルダーを取り外します。

2

ブラシを使用して、カバーガasketを清掃します。

3

フィルターが付いたフィルターホルダーにゴムディスクを挿入します。

4

5G (小さじ2杯分) の洗剤パウダーを注いでください。

5

ディスペンサーユニットのフィルターホルダーを取り付けてください。

6

停止ボタンを押し、10秒後に再度押してください。このステップを10回繰り返してください。

コーヒードリッパーの間はフィルターホルダーを取り外さないでください。

7

フィルターホルダーを取り外してください。停止ボタンを押して、約30秒間水ですすぎサイクルを実行してください。

フィルターホルダー - この操作は各営業日の終わりごとにすべてのフィルターホルダーで実行しなければなりません

1

アルミニウムまたは鉄以外の適切な容器に、お湯 (50÷80°C) 1リットルと10 g (小さじ4杯分) の洗剤パウダーを注いでください。

2

フィルターホルダーからフィルターを取り外します。

3

約15分間、この溶液にフィルターとフィルターホルダーを浸します。
備考! 金属製部品のみ浸してください。

4

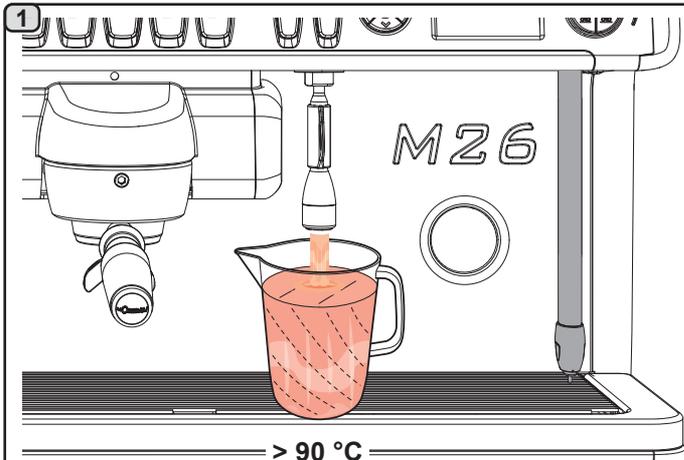
スポンジで残留物を取り除き、冷たい流水でよくすすぎます。

5

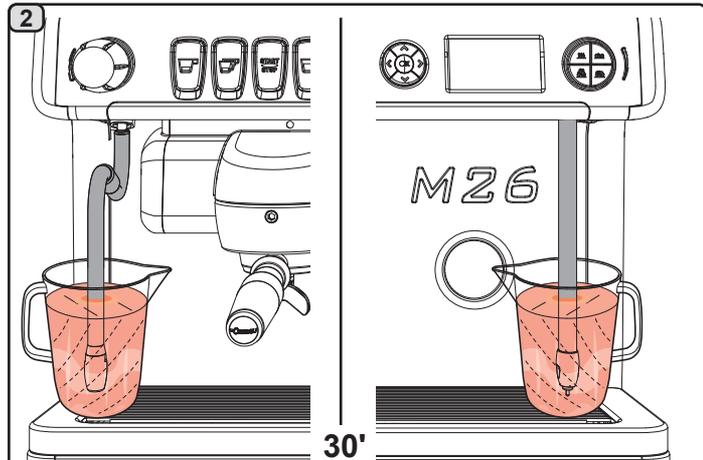
フィルターホルダーにフィルターを戻します。フィルターのアンカースプリング (A) がスロットにはまっていることを確認してください。



手動/自動スチームノズルのクリーニング - この操作は各営業日の終わりごとに実行しなければなりません。

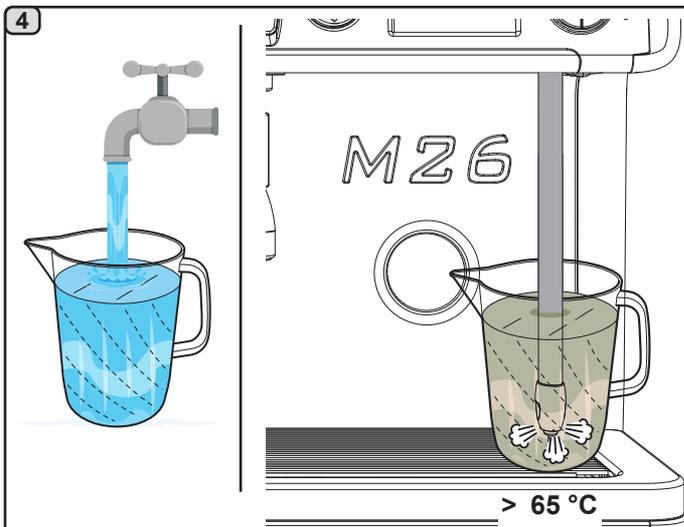


適切な容器を使用して、サービスボイラーから適量のお湯 (> 90°C) を取り出してください。ミルクと接触するノズルの部分をカバーするのに十分な量にしてください。



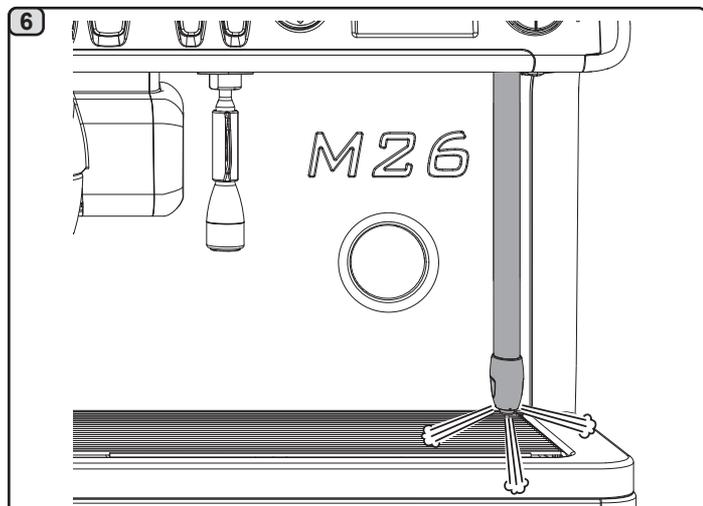
ノズルを少なくとも30分間浸します。

3 水を捨てて、丁寧に容器をすすぎます。

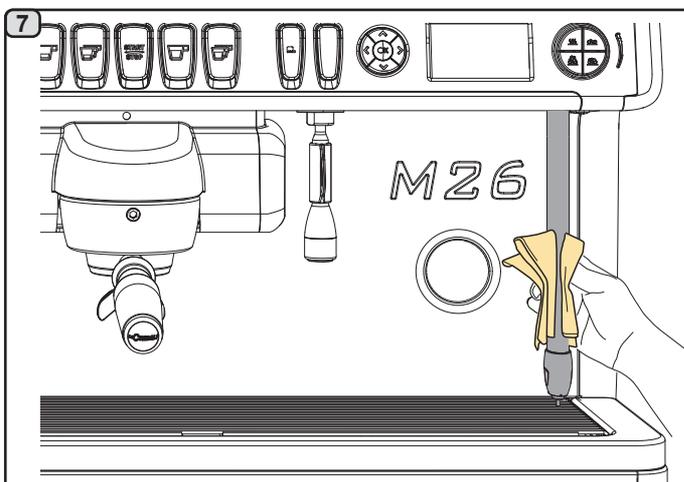


ノズルを使用して少なくとも65°Cまで冷水を温めます。ステップ1でお湯と接触したノズル全体が、水でカバーされるようにしてください。

5 水を捨てて、丁寧に容器をすすぎます。



カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも10秒間丁寧にスチームの分配を行います。



清潔で、わずかに湿らせたスポンジで、ノズルを乾かしてください。スポンジは繊維の残留物を残さないものにしてください。



研磨材を使用しないでください。



LA CIMBALI



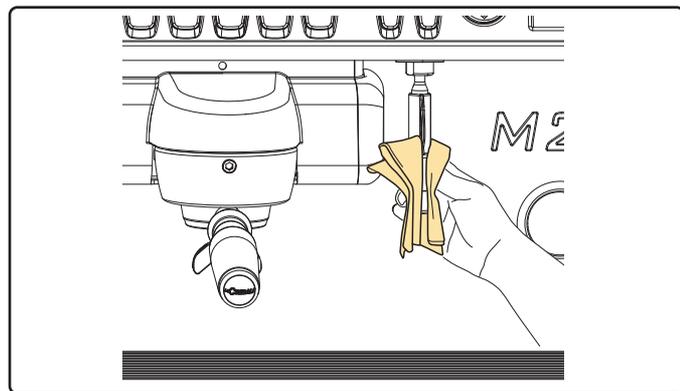
スチームおよびお湯の分配パイプ - この操作は各営業日の終わりごとに実行しなければなりません。

清潔なスポンジを使用してお湯で洗い、有機残留物を除去します。丁寧にすすぎます。



研磨材を使用しないでください。

スチームノズルの内部をクリーニングするには、以下の手順に従ってください。
カップトレイに向けてノズルを回し、少なくとも1回注意深くスチームの分配を行います。



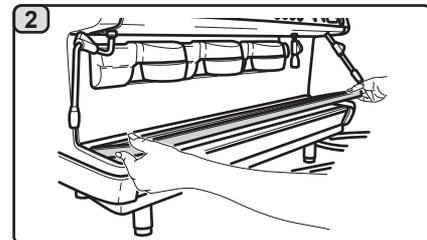
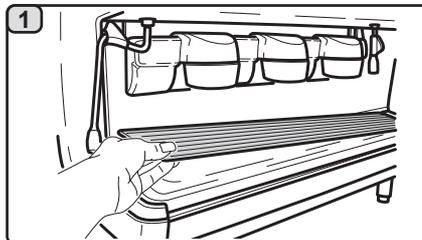
備考: マシンのスイッチがオフの場合、下記の手順も実行できます。

グリルとドリップトレイ - この操作は各営業日の終わりごとに実行されなければなりません。

1. グリルをドリップトレイから取り外します。
2. ドリップトレイを抜き取ります。
3. 流水の下でグリルとドリップトレイをすすぎます。



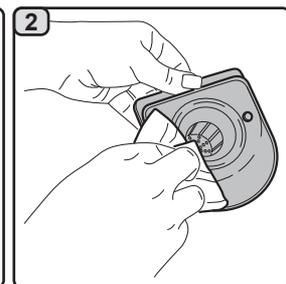
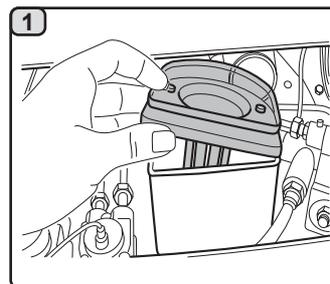
やけどの危険
フロントパネルの下に手を入れないでください。



排水トレイ

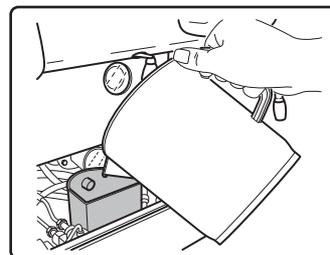
- この操作は、7日ごとにおこなう必要があります

1. トレーを取り外したら、排水トレイのふたを取り外します。
2. スポンジで残留物を取り除き、冷水でよくすすぎます。



- この操作は各営業日の終わりごとに実行しなければなりません。

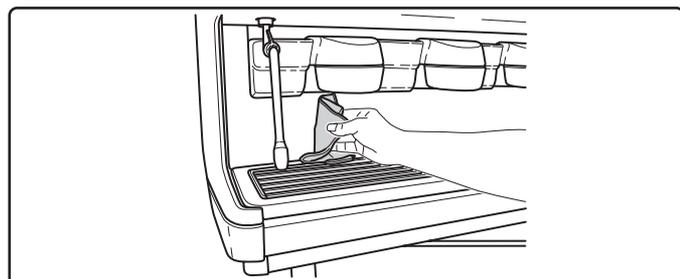
約1リットルのお湯を排水トレイに流し込み、残留物を取り除きます。



本体構造 - この操作は各営業日の終わりごとに実行されなければなりません。

柔らかい布とアンモニアや研磨材無しのクリーニング用品で、作業領域にある有機残留物を取り除きます。

備考: パネルスロットへ液体をスプレーしないでください。





19. 欠陥 - 不具合

顧客による直接行動

サービス担当者に連絡する前に、不必要な出費を防止するため、マシンの問題が下に記載された事例のいずれかに当てはまるかどうかをチェックします。

問題	原因	解決策
コーヒーマシンが動作せず、ディスプレイ (16) が空白になっている。	電気が供給されていない。	電気供給を確認してください。 メイン スイッチ (1) の位置を確認してください。
フィルターホルダーリム(20)からの漏れ。	アンダーパンガスケットがコーヒーで汚れている。	同梱の専用ブラシを使用して清掃してください。
コーヒーの分配時間が短すぎる。	コーヒーがあまりに粗く挽かれている。 コーヒーが古すぎる。	より細かいグラインダーを使用してください。 新しいコーヒーを使用してください。
コーヒーがマシンから滴る。	フィルターの穴が塞がれている。 あるいは、フィルターホルダー (21) の出口の穴が汚れている。 コーヒーがあまりに細かく挽かれている。	クリーニングしてください。 より粗いグラインダーを使用してください。
マシンの底部で水が漏れている。	排水口が詰まっている。 排水トレイの穴が塞がれている。	クリーニングしてください。 クリーニングしてください。
マシンは加熱されたが、コーヒーが分配されない。	水の供給または硬水軟化剤の栓が閉じている。 システムに水がない。	栓を開けます 水が利用可能になるまで待つか、配管技術者に連絡してください。
自動レベルコントロール装置が動作したままになっている。	上記と同じ原因です。	上記と同じ解決策です。

明示モードでのメッセージ

メッセージ	考えられる原因:メッセージが表示される場合	検証
Machine cold (マシン低温) Please wait (お待ちください)	任意の分配アイコンを押すと、マシンをオンにするたびにサービスボイラーの圧力があらかじめ設定された作動圧力以下に下がるまでこのメッセージがディスプレイに表示されます。	サービスボイラーがあらかじめ設定した圧力に達すると、メッセージは自動的に消えます。
Service needed (サービスが必要)	マシンが定期メンテナンスを必要とする場合にこのメッセージが表示されます。一時的にメッセージを削除するには、約8秒間、◀キーを押したままにします。メッセージは、メインスイッチで次にマシンを再度起動すると、再度表示されます。	認可を受けた技術部門に連絡してください。点検修理が実行されるまで、メッセージが表示されます。
Softener (軟化剤)	軟化剤樹脂を再生する必要がある場合、このメッセージが表示されます。(軟化剤メンテナンスの取扱説明書に従ってください)。	生成が完了したら、◀キーを約8秒間押したままにし、メッセージをキャンセルします。
Change water filter (水フィルターの交換)	このメッセージは、マシンが水フィルターの交換を要求とする時に表示されます。一時的にメッセージを削除するには、約8秒間、◀キーを押したままにします。メッセージが、周期的な間隔で再び表示されます。	認可を受けた技術者に連絡してください。フィルターが交換されるまで、メッセージが表示されます。 備考:フィルターを交換する必要がある場合、マシンによって記録されます。
Machine in stand-by (スタンバイ中のマシン)	マシンのスイッチのオン/オフがプログラムされた場合、このメッセージが表示されます。メッセージは、マシンがスイッチオフになっており、スタンバイの状態であることを示します。	マシンのオン/オフのプログラムの方法は、技術者マニュアルを参照してください。 いずれかの分配ボタンを押し、マシンを再度強制的にオンにします。
Energy saving mode (省エネモード)	このメッセージは、マシンがエコノミーモードのときに表示されます。	いずれかの分配ボタンを押してECONOMY (エコノミー)モードを終了し、マシンの作業段階に戻ります。
洗浄に関するメッセージ		本マニュアルの「クリーニング作業」を参照してください。





カスタマープログラミング (ディスプレイ DT バージョンのみ)

20. データフローチャート

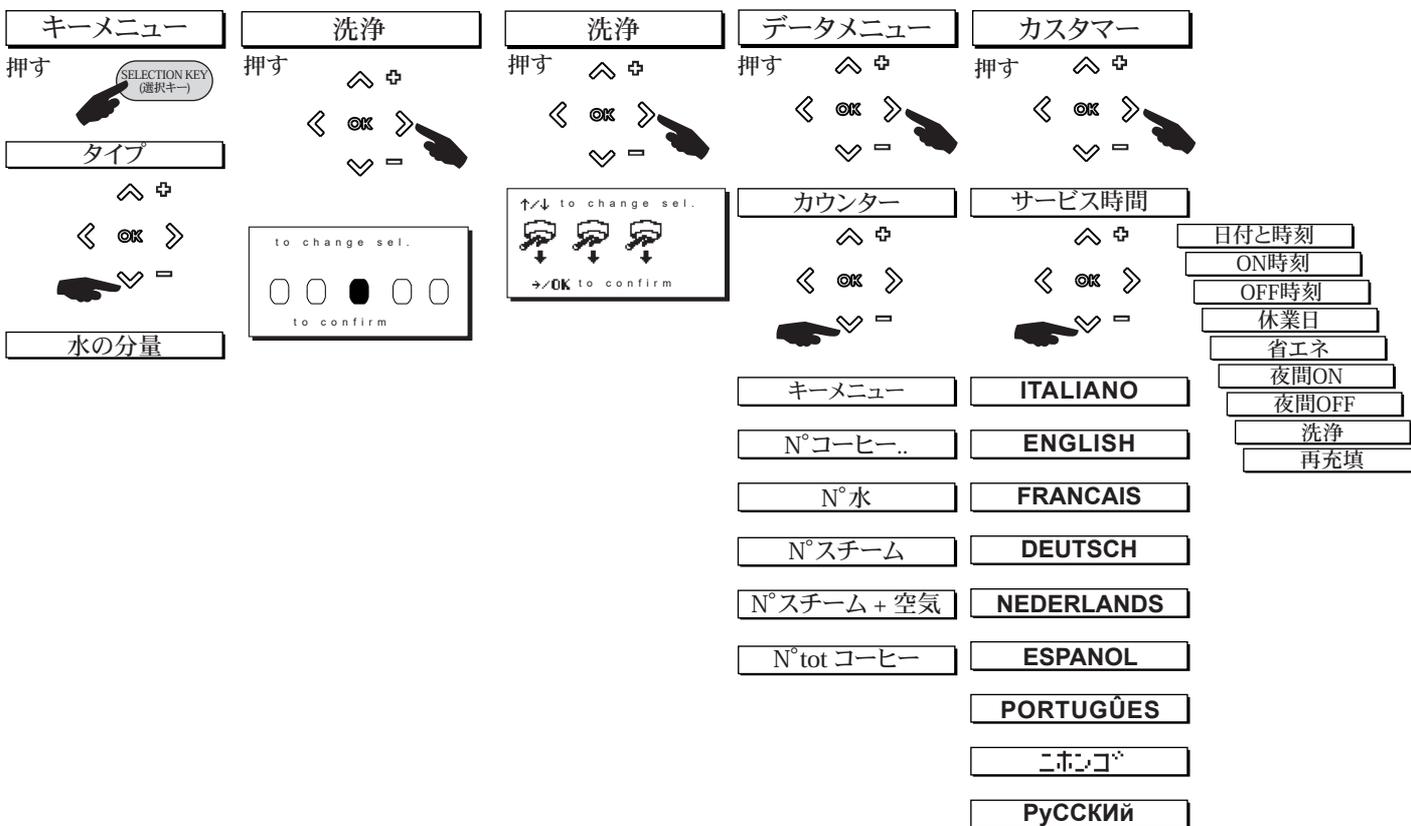
メニューにアクセスするには次を押してください ▶



メニューを終了するには次を押してください ◀

日本語

「Prog. cliente」が「はい」で、「Program. block」が「いいえ」の場合のみ



プログラミングメニューの終了

メニューの終了前:

- OK キーを押して設定に行われた変更を確認します
- ◀キーを押して設定を変更しないままにしておきます



LA CIBALI



21. 時計の調整

▲と▼キーを使用して時計を調整します。
 キーを押す度に、時計は1分ずつ進みます(遅れます)。
 キー(▲または▼)のいずれかを押し、10秒以上押し続けたままにすると、分の設定が停止し、時間の設定が進みます(または遅れます)。
 時間設定の段階では、秒は「00」のままになります。



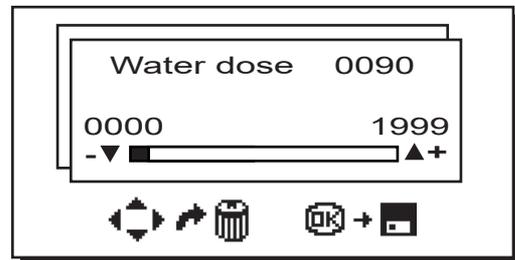
日本語

22. プログラミングモードへのアクセス方法

注意:「Customer Progr. (カスタマープログラミング)」が「YES (はい)」に、「Program. block (プログラミングブロック)」が「NO (いいえ)」に設定されている場合のみであることに注意してください。

備考:データを修正する場合、カーソルが「→」またはスライドバーに変わり、最大と最小の設定が現れます。

プログラミングにアクセスするには、▶キーを押します。ディスプレイには次のメッセージが表示されます。



▲と▼キーを使用して、希望のラインにカーソル(黒線)を置き▶キーを押します。
 常に▲と▼キーを使用して設定を変更してください。この時点では、以下の2つの可能性があります。

- 1) OKキーを押して行った変更を確定します。
- 2) メニューを終了して、◀キーを押して設定をそのままにしておきます。



LA CIMBALI

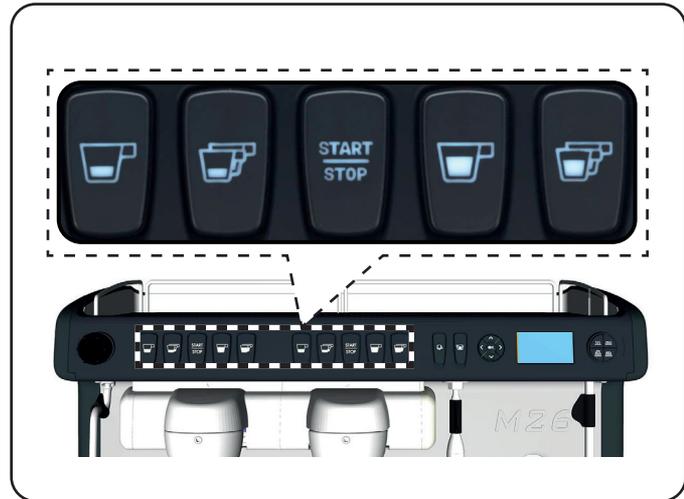


23. キーメニュー - コーヒー選択

選択パネルでコーヒー分配キーのいずれかを押します (対応するLEDはオンのままで点滅しません)。次のメッセージがディスプレイに表示されます。



それぞれの分配単位はパネルによりコントロールされ、各ボタンに対する希望の分配量をプログラミングできます。次のコーヒー選択パラメータを変更することができます。
- 水の分量 (体積用量パルス)



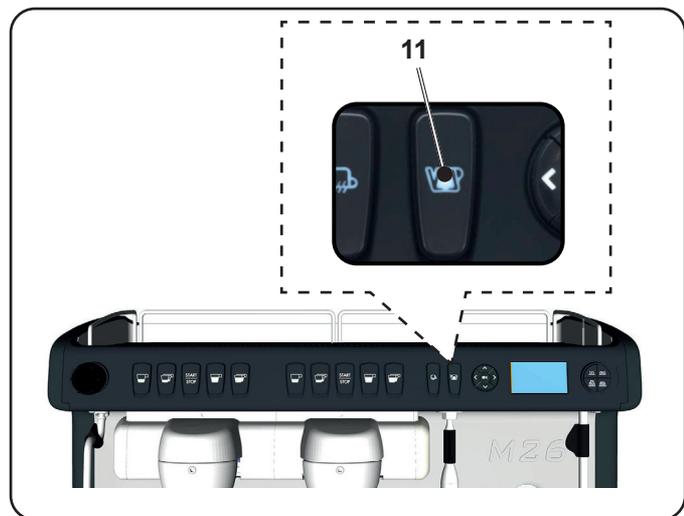
日本語

24. キーメニュー - お湯選択

お湯の分配キー (11) を押します。次のメッセージがディスプレイに表示されます。



次のお湯選択パラメータを変更することができます。
- 水の分配時間 (秒単位の分配時間)。

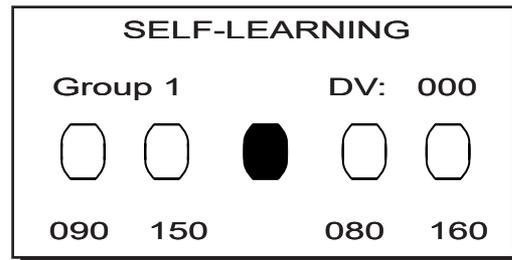




25. Programming measures using the "SELF-LEARNING" function

The doses of water for coffee and the hot water doses can also be programmed using the "SELF-LEARNING" function.

Use the ▲ and ▼ keys to position the cursor (black line) on the desired line and then press the ► key. The following message will appear on the display:



Coffee doses

- 1 - Hook the filter holder with the dose of ground coffee to the unit.
- 2 - Place the cup or cups underneath the filter holder nozzles and press the button to be programmed. Keep the button pressed until the desired level is reached in the cup or cups.



During this phase, the value of the pulses of the volumetric dispensing device (at the top right of the display) increases. On releasing the button, the value reached is stored and appears under the key programmed.

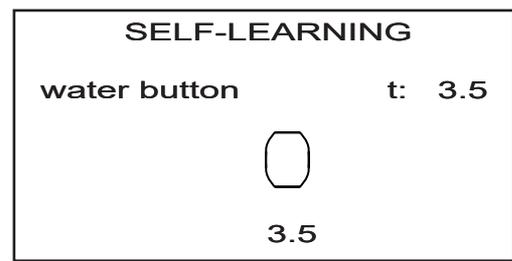
- 3 - Continue to program all the coffee buttons, repeating the steps starting with number 1.

Hot water doses

- 1 - Press the button to be programmed. Keep the button pressed until the desired level is reached in the cup.



During this phase, the time in seconds (at the top right of the display) increases. On releasing the button, the value reached is stored and appears under the key programmed.



- 2 - Continue to program all the water buttons, repeating the steps starting with number 1.

At the end, confirm the changes made by pressing the **OK** key or exit the menu, leaving the data unchanged, by pressing the ◀ key.

26. 洗浄

▶キーを押し、▲と▼キーを使用してカーソル(黒線)を希望の線上に配置します。以下のメッセージがディスプレイに現れます。



この機能を設定するには「クリーニングとメンテナンス」を参照してください。





27. データメニュー - カウンタ ディスプレイとゼロ化

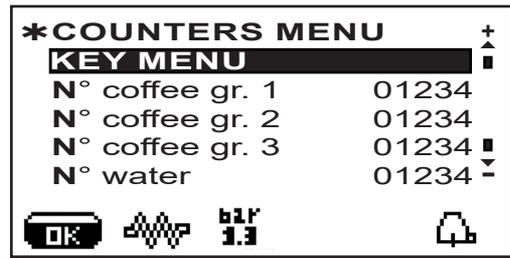
1

▶キーを押し、▲と▼キーを使用してカーソル (黒線) を希望の線上に配置します。以下のメッセージがディスプレイに現れます。



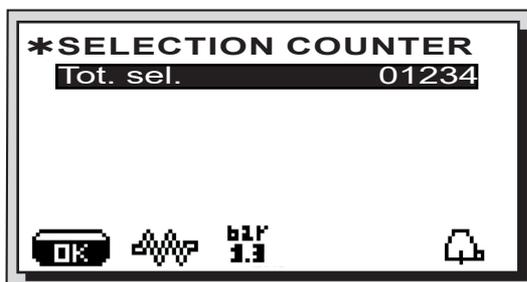
2

カウンターは ▶キーを押すことにより表示されます。次のメッセージがディスプレイに表示されます。



3

いずれかの分配キーを押すと関連の LED が点灯したままになり、ディスプレイにコーヒーがそのキーで分配された回数が表示されます。



選択カウンタは▶キーを押し ▲または ▼キーを押すことでゼロ化できます。

OKキーを押すとゼロ化が確定し、◀キーを押すとメインメニューに戻ります。

4

計算されたパラメータは次のとおりです。

- N. coffee (N. コーヒー) (コーヒードリンクの数)
- N. water (N. 水) (水が分配された回数)
- N. tot coffee (N. tot コーヒー) (コーヒードリンクの合計数)。

カウンターは、カーソルを選択したエントリに合わせて、▶キーを押し、次に ▲または ▼キーを押すことによってゼロにできます。

OKキーを押し、ゼロ化を確定します。

「N. コーヒー」のエントリはマシン グループの数だけ現れます。

備考:ゼロ化できないパラメータは次のとおりです。

- N. tot coffee (N. tot コーヒー)

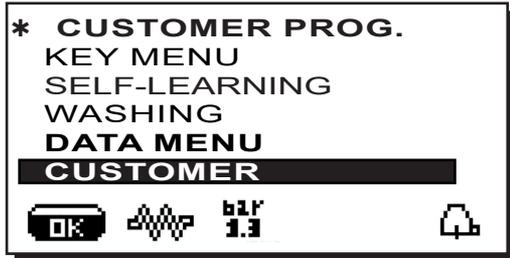
◀キーを押し、メインメニューに戻ります。



28. カスタマーパラメータメニュー

▶キーを押し、▲と▼キーを使用してカーソル (黒線) を希望の線上に配置します。以下のメッセージがディスプレイに現れます。

「カスタマーパラメータ」にアクセスするには、▶キーを押します。ディスプレイには次のメッセージが表示されます。



言語選択

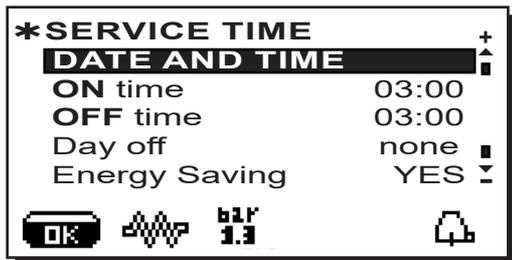
この設定とは異なる言語でメッセージを表示するには、プログラミングモードに入り、「▲と▼キーを押して、次に▶キーを押してカーソルを希望の言語に置きます。マシンは、選択した言語のメッセージで再起動します。





営業時間メニュー

▶キーを押すと、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。



次の営業時間パラメーターを変更することができます。

- ON time (マシンのスイッチがオンになる時刻)
- OFF time (マシンのスイッチがオフになる時刻)
- day off (営業しない日)

一般事項

営業しない日がない場合 (ノンストップ営業など)、「day off (休日)」には「none (なし)」を入力します。

「ON time (オン時刻)」および「OFF time (オフ時刻)」パラメーターには同じ時刻を入力します (例:

ON time 22:00

OFF time 22:00)

自動スイッチオン/スイッチオフ機能が必要なく、マシンを手動でオン、オフする場合。

- Energy Saving (省エネ機能の有効化/無効化: YES/NO)。
- Night ON (夜間 ON) (夜間ドリンク料金を開始する時刻: 支払いシステムが接続されている場合のみ)
- Night OFF (夜間 OFF) (夜間ドリンク料金を終了する時刻: 支払いシステムが接続されている場合のみ)
- Wash (洗浄) (計画洗浄の時間)。

洗浄サイクルはプリセットされた時間に実行されます。設定時間にディスプレイはこのメッセージ「EXECUTE COFFEE WASHING (コーヒー洗浄実行)」を表示します。

リクエストされると、洗浄サイクル (同時的または連続的) が「クリーニング作業」のパラグラフに記載の通りに実行されます。

このステップに従って洗浄サイクルの間時間を設定してください。

- カーソルをWASH (洗浄)の線に位置決めします。

- ▶キーを押します。

- ▲と▼キーを使用して時間を変更します。

- OKキーを押し、設定を確認します。

時間にOFFを設定すると、これらの洗浄サイクルは起動しません。OFFが表示されます。▼キーを押します。表示される時刻は「00:00」です。

備考。技術者は「ブロック」機能を有効または無効にする権限を持っています。

「ブロック」が有効化されると、洗浄サイクルが1時間以内に実行しない場合、マシンはドリンクの分配を停止します。

- Water Change (水の交換) 水の交換を時間で設定できます。時間リクエストを行う「Water Change (水の交換)機能は、「ブロック」機能を有効化または無効化できる技術者が設定します。

「ブロック」が有効化されると、水の交換が1時間以内に完了しない場合、マシンはドリンクの分配を停止します。

予定されたリクエストでは、ユーザーはリクエストが表示される時間のみを変更することができます。

以下のステップに従って、時間を設定してください。

- カーソルをWater Change (水の交換)の線に位置決めします。

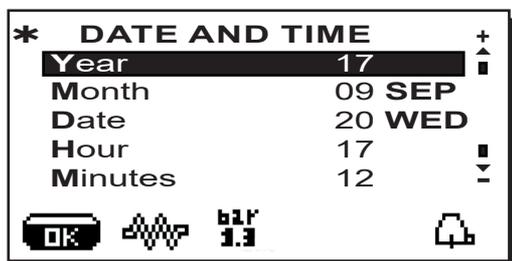
- ▶キーを押します。

- ▲と▼キーを使用して時間を変更します。

- OKキーを押し、設定を確認します。

日付と時刻

日付および時間を変更するには、対応する線の▶キーを押します。以下のメッセージが表示されます。



▲と▼キーを使用して、変更するエントリにカーソル (黒線) を移動し、▶キーを押します。カーソルが矢印に変わり ▲と▼キーを使用して、選択したエントリの数字を変更することができますようになります。

操作が完了したら、OKキーを押し、データを確定します。

備考: カーソルは黒の線に戻ります。

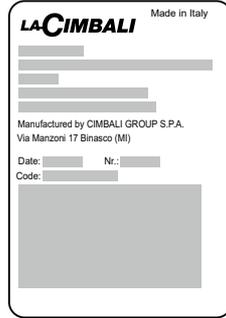
上記の操作を繰り返し、他のパラメーターを変更します。



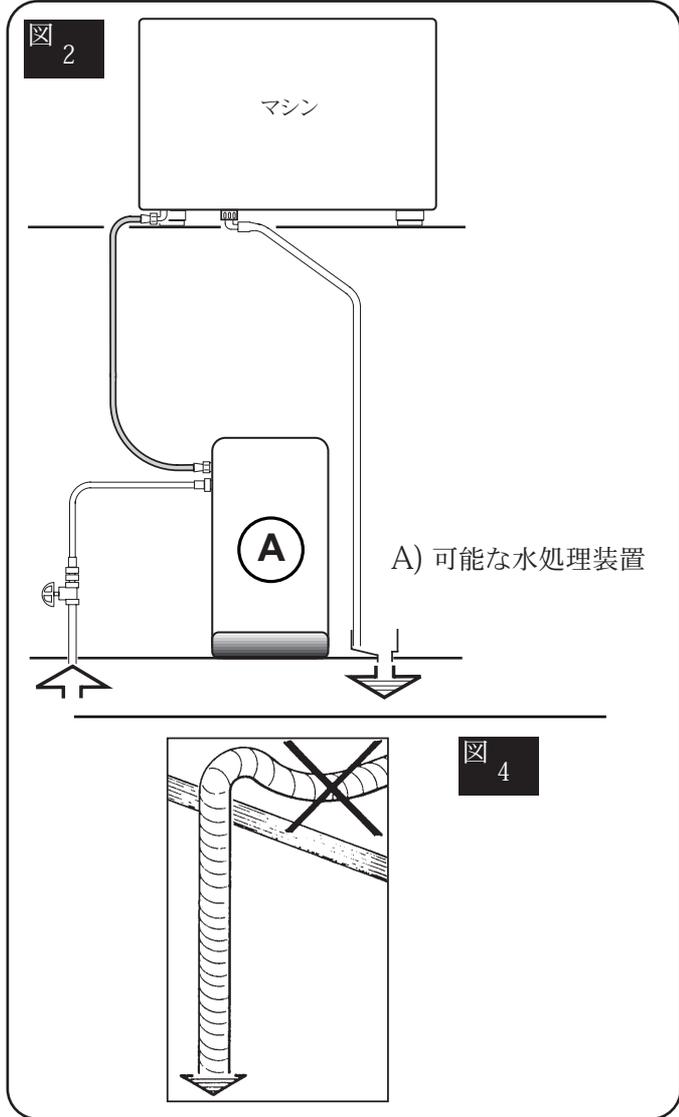


イラスト

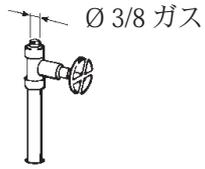
- 設置規則の各章を参照



1



3

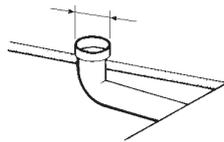


水供給タップの設置

水道本管最大圧力

6 bar - 0.6 MPa

(この値より大きい圧力の場合、減圧弁を設置)



排水管

最小
Ø 50 mm

日本語



LA CIBBALI



GRUPPO CIBBALI S.p.A.
Via A. Manzoni, 17
20082 Binasco
(MI) Italy

GRUPPO CIBBALIは、個々の国のニーズに応じて、およびテクノロジー上の進捗状況に基づいてマシンに変更を加える権利を有するものとします。

この出版物はGRUPPO CIBBALI S.p.Aの書面による事前の承諾がない限り、全部、一部に関わらず、使用、コピー、または出版してはいけません。

© Copyright by GRUPPO CIBBALI S.p.A., Milan, Italy
不許複製

サービスライン

GRUPPO CIBBALIおよび「サービスライン」

GRUPPO CIBBALI社のクライアントサービスの目的は、弊社のクライアントに最高のコーヒーマシンのパフォーマンスを常に保証し、この目的のために特別に開発された一連の特殊なクリーニング用製品である弊社のECO LINEを提供することにあります。

ECO LINE - クリーニング用製品

A) カプチーノメーカー用	液体	610-004-159。
B) ディスペンサー、フィルターホルダー、コーヒーカップ用	粉末	610-004-270。
B) ディスペンサー、フィルターホルダー、コーヒーカップ用	小包	610-004-244。
D) スーパー自動マシンディスペンサー用	タブレット	610-004-217。

地域の販売代理店に直接注文してください。ご希望のアイテムについて上記の番号を指定してください。



メーカーは、この資料で示された器具を通知なく修正する権利を
有するものとします

GRUPPO CIMBALI SpA - 20082 BINASCO (MILANO) ITALY



CERT. NR. 50 100 3685 / 10877 / 11721

